

流通経済大学

履修要綱

法学部

(2019入学生用)

目 次

教育方針

教育課程表

ビジネス法学科 教育課程表

1. 基本科目	6
2. 外国語科目	6
3. 教養科目	8
4. キャリア科目	10
5. 専門科目	11
6. 教職科目	14
卒業に必要な単位数	15

自治行政学科 教育課程表

1. 基本科目	16
2. 外国語科目	16
3. 教養科目	18
4. キャリア科目	20
5. 専門科目	21
6. 教職科目	24
卒業に必要な単位数	25

カリキュラムマップ

一般教養科目カリキュラムマップ	27
キャリア科目カリキュラムマップ	28
ビジネス法学科のコース制	30
自治行政学科のコース制	31
ビジネス法学科のカリキュラムマップ	32
自治行政学科のカリキュラムマップ	34

履修の手引

1. セメスター制	37
2. 単位制	37
3. 最高履修単位数	37
4. 3学年進級に必要な単位数	37
5. 卒業	38
6. 科目の履修	38
7. 単位の修得	39

8. 授業時間	40
9. 休講と補講	40
10. 出席調査	40
11. 災害時の授業	40
12. 試験	40
13. 不正行為	42
14. 成績評価	42
15. G P A	42
16. 他キャンパス受講	43
17. キャンパス変更	43
18. 演習の履修	43
19. 単位の認定	44
20. 資格の取得	49

教育方針

法学部の教育方針

法学部では、法律の知識に基づく論理的思考やバランス感覚を身に付け、幅広く奥行きのある教養と人間性をも備えた人材の養成を目的とする（流通経済大学・学則・第4条の2）。

わが国は、従来のいわゆる護送船団方式による事前調整型社会から、自己責任に基づく事後規制型社会へと大きく方向転換しつつあります。しかも、現代社会は、グローバル化が急速に進み、高度に複雑な社会となっています。このような中、今日の企業は、グローバルな国際競争にさらされているとともに、その社会的責任が強く求められています。とりわけ、最近では、企業の犯罪や不祥事が多発続発し、企業活動に法令遵守（コンプライアンス）や企業統治（ガバナンス）の重要性が強調されています。自治体においても、地方分権が進展する中、地域の直面する諸課題の解決や多様な施策・立案をそれぞれの自治体の決定と責任の下で行わなければならないようになっており、法的対応の必要性はここでも不可避となっています。

法学部では、こうした時代の要請に応えるとともに、本学の理念の1つである実学主義教育の下で、法律学を学ぶ上で必要な知識、論理的思考やバランス感覚（リーガル・マインド）を身につけ、しかも、幅広く奥行きのある教養と人間性を備え、実業界、地方自治体・非営利団体の中で活躍する人材を育成することを目的としています。

ビジネス法学科の教育方針

教育目的（流通経済大学・学則・第4条の2）

ビジネス法学科では、企業活動における法令遵守や企業統治の現代的意義を深く理解し、ビジネス界で実践できる人材の養成を目的とします。

ディプロマポリシー（学位授与の方針） Diploma Policy（略称：DP）

ビジネス法学科は、学部の教育目的の下、企業活動における法令遵守（コンプライアンス）や企業統治（コーポレート・ガバナンス）の現代的意義を深く理解し、実社会で活躍できる人材の育成を目指しており、所定の単位を修得し、以下のような知識や能力、態度を身につけた学生の卒業を認定し、学士（法学）の学位を授与します。

1. さまざまな問題の解決に必要な法的思考能力（リーガル・マインド）
2. 企業活動における法令遵守（コンプライアンス）や企業統治（コーポレート・ガバナンス）に関する知識
3. グローバル時代に対応した法知識と能力
4. 幅広く奥行きのある教養および豊かな人間性に裏打ちされたコミュニケーション能力

カリキュラムポリシー（教育課程の編成・実施の方針） Curriculum Policy（略称：CP）

学部の教育目的を達成するとともに、ディプロマポリシーが求める人材養成方針を満たすために、ビジネス法学科では以下のような科目を提供します。

1. 法と政治の制度の枠組みを知る科目
2. 法的思考の基礎となる知識を学ぶ科目
3. ビジネス活動に関わる法的知識を学ぶ科目
4. 企業活動における法令遵守・企業統治の実践に必要な知識を学ぶ科目
5. 法とビジネスを深く理解するための背景知識および関連知識を学ぶ科目
6. 企業活動における法的な問題を発見し、解決の筋道を考える能力を身につける科目
7. 対話・討論を通じて自らの思考を表現する能力を身につける科目

自治行政学科の教育方針

教育目的（流通経済大学・学則・第4条の2）

自治行政学科では、地方自治を担う人材を養成すべく、専門の法律や政治・行政について理解し、地方自治に関わる分野で、法的思考力や政策形成能力を発揮できる人材の養成を目的とします。

ディプロマポリシー（学位授与の方針） Diploma Policy（略称：DP）

自治行政学科は、学部の教育目的の下、公務員・NPO職員等として公共の一翼を担うことのできる人材、および地方自治に関わるさまざまな分野で活躍できる人材の育成を目指しており、所定の単位を修得し、以下のような知識や能力、態度を身につけた学生の卒業を認定し、学士（法学）の学位を授与します。

1. 地方自治の発展、地域社会の活性化、住みよいまちづくりに関する知識
2. 公務員・NPO職員等として、行政その他公共の一翼を担うことのできる法的思考能力・政策形成能力
3. 会得した知識を活用し、地方自治や地域社会に関わるさまざまな分野で活躍できる能力
4. 幅広く奥行きのある教養および豊かな人間性に裏打ちされたコミュニケーション能力

カリキュラムポリシー（教育課程の編成・実施の方針） Curriculum Policy（略称：CP）

学部の教育目的を達成するとともに、ディプロマポリシーが求める人材養成方針を満たすために、自治行政学科では以下のような科目を提供します。

1. 法と政治の制度の枠組みを知る科目
2. 法的思考・政策形成能力の基礎となる知識を学ぶ科目
3. 地方における公共的な活動に関わる法的・政策的知識を学ぶ科目
4. 地域社会への貢献に必要な知識を学ぶ科目
5. 地域社会のあり方を深く理解するための背景知識および関連知識を学ぶ科目
6. 地方自治・地域社会の課題を発見し、解決の道筋を考える能力を身につける科目
7. 対話・討論を通じて自らの思考を表現する能力を身につける科目

教育課程表

教育課程表の見方

教育課程表には、各学科で設定されている全ての授業科目、履修学年・学期、必要単位数等の一覧が掲載されています。科目選択や卒業要件なども記載されていますので、「卒業に必要な単位数」および別紙「カリキュラムマップ」とともによく読んで、科目を履修してください。

教育課程表は学科、入学年度によって異なりますので、自分の所属する学科、入学年度に該当する教育課程表を参照してください。また、外国人留学生は、外国人留学生を対象とした説明もよく読んでください。

科目は、必修科目、選択必修科目、選択科目などに分類されます。

- 1) 必修科目とは、定められた配当年次において必ず履修しなければならない授業科目です。
- 2) 選択必修科目は、指定された単位数を複数の授業科目の中から選択して履修する授業科目のことです。
- 3) 選択科目は、自由に選択して履修できる授業科目です。単位数に関する規定はありません。
- 4) 自由科目は、成績表には記載されますが、卒業単位には算入されない科目です。

記号の説明

- ◎：必修科目です。履修しなければならない学年が指定されています。単位が未修得の場合は、翌年度以降に履修しなければなりません。
- ：選択必修科目です。
- ◆：選択必修科目です。履修しなければならない学年が指定されています。単位が未修得の場合は、翌年度以降に履修しなければなりません。
- ：選択必修科目です。履修することができる学年/学期が指定されています。記号のある学年以外では履修できません。
- ：選択科目です。
- ◎：自由科目です。

記号がある欄の学年は履修できる最初の学年です。この記号のある学年以降の学年でも履修することができます。

春学期または秋学期のいずれかの学期に開講される科目は、春学期に記号がついています。春学期に記号がある科目が秋学期に開講される場合がありますので、履修したい科目が春学期の時間割にならない場合は、秋学期の時間割を見てください。

ビジネス法学科 教育課程表

1. 基本科目

ビジネス法学科の基本科目はすべて必修科目であり、合計で20単位あります。表にあるすべての科目を履修します。

1年演習、2年演習、3年演習、4年演習は通年科目です。演習の履修については「17. 演習の履修」に詳しい説明があります。

1学年において、「情報リテラシー演習Ⅰ・Ⅱ」を履修します。指定されたクラスで履修してください。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考
必修科目 20単位	演習		SEM16101	1年演習	4	◎								
			SEM16202	2年演習	4			◎						
			SEM16303	3年演習	4					◎				
			SEM16404	4年演習	4								◎	
	情報基礎		EIL16101	情報リテラシー演習Ⅰ	2	◎								
			EIL16102	情報リテラシー演習Ⅱ	2		◎							

2. 外国語科目

外国語科目には、英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、朝鮮・韓国語と日本語の8言語があり、必修科目、選択必修科目と選択科目に分かれています。

(1) 必修科目

外国人留学生を除く学生は英語が必修科目、外国人留学生は日本語が必修科目です。外国人留学生を除く学生は1学年で4単位、2学年で2単位の英語を履修します。外国人留学生は1学年で4単位、2学年で2単位の日本語を履修します。指定されたクラスで履修してください。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
必修科目 6単位	外国語	英語	ENG16101	Comprehensive English 初級Ⅰ	1	◎									
			ENG16102	Comprehensive English 初級Ⅱ	1		◎								
			ENG16103	Introduction to TOEIC Ⅰ	1	◎									
			ENG16104	Introduction to TOEIC Ⅱ	1		◎								
			ENG16205	English Communication 初級Ⅰ	1			◎							
			ENG16206	English Communication 初級Ⅱ	1				◎						
	日本語	日本語	JPN16101	(外) 日本語 A Ⅰ	1	◎									留学生履修科目
			JPN16102	(外) 日本語 A Ⅱ	1		◎								留学生履修科目
			JPN16103	(外) 日本語 B Ⅰ	1	◎									留学生履修科目
			JPN16104	(外) 日本語 B Ⅱ	1		◎								留学生履修科目
			JPN16205	(外) 日本語 C Ⅰ	1			◎							留学生履修科目
			JPN16206	(外) 日本語 C Ⅱ	1				◎						留学生履修科目

(2) 選択必修科目

選択必修科目の外国語は7言語です。外国人留学生を除く学生はフランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、朝鮮・韓国語から1つの言語（2単位）を入学時に選択して、1学年で履修します。外国人留学生は日本語（2単位）を2学年で履修します。指定されたクラスで履修してください。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
選択必修科目 2単位	外国語	フランス語	FRA16101	初級フランス語Ⅰ	1	◆									
			FRA16102	初級フランス語Ⅱ	1		◆								
		ドイツ語	GER16101	初級ドイツ語Ⅰ	1	◆									
			GER16102	初級ドイツ語Ⅱ	1		◆								
		スペイン語	SPA16101	初級スペイン語Ⅰ	1	◆									
			SPA16102	初級スペイン語Ⅱ	1		◆								
		ポルトガル語	POR16101	初級ポルトガル語Ⅰ	1	◆									
			POR16102	初級ポルトガル語Ⅱ	1		◆								
		中国語	CHI16101	初級中国語Ⅰ	1	◆									
			CHI16102	初級中国語Ⅱ	1		◆								
		朝鮮・韓国語	KOR16101	初級朝鮮・韓国語Ⅰ	1	◆									
			KOR16102	初級朝鮮・韓国語Ⅱ	1		◆								
		日本語	JPN16207	(外) 日本語DⅠ	1				◆						留学生履修科目
			JPN16208	(外) 日本語DⅡ	1					◆					留学生履修科目

(3) 選択科目

選択科目の外国語には、英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、中国語と朝鮮・韓国語があります。2学年以上で履修できる会話の授業は、選択必修科目の外国語または選択科目での第三外国語の履修を終えた者に限ります。

また、選択必修科目で履修した外国語と同じ語学で、第三外国語を履修することはできません。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
選択科目	外国語	フランス語	FRA11205	初級フランス語Ⅰ（第三外国語）	1	○									
			FRA11206	初級フランス語Ⅱ（第三外国語）	1		○								
		ドイツ語	GER11205	初級ドイツ語Ⅰ（第三外国語）	1	○									
			GER11206	初級ドイツ語Ⅱ（第三外国語）	1		○								
		スペイン語	SPA11205	初級スペイン語Ⅰ（第三外国語）	1	○									
			SPA11206	初級スペイン語Ⅱ（第三外国語）	1		○								
		ポルトガル語	POR11205	初級ポルトガル語Ⅰ（第三外国語）	1	○									
			POR11206	初級ポルトガル語Ⅱ（第三外国語）	1		○								
		中国語	CHI11205	初級中国語Ⅰ（第三外国語）	1	○									
			CHI11206	初級中国語Ⅱ（第三外国語）	1		○								
		朝鮮・韓国語	KOR11205	初級朝鮮・韓国語Ⅰ（第三外国語）	1	○									
			KOR11206	初級朝鮮・韓国語Ⅱ（第三外国語）	1		○								
		英語	ENG16207	Comprehensive English 中級Ⅰ	1			○							
			ENG16208	Comprehensive English 中級Ⅱ	1				○						
			ENG16209	資格英語Ⅰ	1			○							
			ENG16210	資格英語Ⅱ	1				○						
			ENG16211	メディア英語Ⅰ	1			○							
			ENG16212	メディア英語Ⅱ	1				○						
			ENG16213	English Writing Ⅰ	1			○							
			ENG16214	English Writing Ⅱ	1				○						
			ENG16215	English Reading Ⅰ	1			○							
			ENG16216	English Reading Ⅱ	1				○						
			ENG16317	English Communication 中級Ⅰ	1					○					
			ENG16318	English Communication 中級Ⅱ	1						○				

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
		フランス語	FRA16203	フランス語会話Ⅰ	1			○							
			FRA16204	フランス語会話Ⅱ	1				○						
		ドイツ語	GER16203	ドイツ語会話Ⅰ	1			○							
			GER16204	ドイツ語会話Ⅱ	1				○						
		スペイン語	SPA16203	スペイン語会話Ⅰ	1			○							
			SPA16204	スペイン語会話Ⅱ	1				○						
		ポルトガル語	POR16203	ポルトガル語会話Ⅰ	1			○							
			POR16204	ポルトガル語会話Ⅱ	1				○						
		中国語	CHI16203	中国語会話Ⅰ	1			○							
			CHI16204	中国語会話Ⅱ	1				○						
		朝鮮・韓国語	KOR16203	朝鮮・韓国語会話Ⅰ	1			○							
			KOR16204	朝鮮・韓国語会話Ⅱ	1				○						

3. 教養科目

教養科目は必修科目と選択必修科目に分かれています。

(1) 必修科目

2学年において、「リベラルアーツ演習」を履修します。履修方法については、別途掲示します。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考
必修科目 2単位	教養共通		LIA16201	リベラルアーツ演習	2			◎						

* 春学期に記号がある科目が春学期の時間割にない場合は、秋学期の時間割を見てください。

(2) 選択必修科目

選択必修科目には、人文、地域、社会、自然、スポーツ・健康の区分があります。表の科目から選択して、24単位以上を履修します。すべての科目を1学年から履修することができます。

(外) が付いている科目名は外国人留学生が履修登録できる科目です。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
選択必修科目 24単位以上	教養基礎	人文	HUM16101	哲学Ⅰ	2	●									
			HUM16102	哲学Ⅱ	2		●								
			HUM16103	社会倫理学Ⅰ	2	●									
			HUM16104	社会倫理学Ⅱ	2		●								
			HUM16105	宗教学Ⅰ	2	●									
			HUM16106	宗教学Ⅱ	2		●								
			HUM16107	美術史Ⅰ	2	●									
			HUM16108	美術史Ⅱ	2		●								
			HUM16109	言語論Ⅰ	2	●									
			HUM16110	言語論Ⅱ	2		●								
			HUM16111	現代文章論Ⅰ	2	●									
			HUM16112	現代文章論Ⅱ	2		●								
			HUM16113	考古学Ⅰ	2	●									
			HUM16114	考古学Ⅱ	2		●								
			HUM16115	人文地理学Ⅰ	2	●									
			HUM16116	人文地理学Ⅱ	2		●								

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考						
	人文	人	HUM16117	民俗学Ⅰ	2	●														
			HUM16118	民俗学Ⅱ	2		●													
		地	域	REG16101	文学（日本文学）Ⅰ	2	●													
				REG16102	文学（日本文学）Ⅱ	2		●												
				REG16103	文学（外国文学）Ⅰ	2	●													
				REG16104	文学（外国文学）Ⅱ	2		●												
				REG16105	歴史学入門（日本史）Ⅰ	2	●													
				REG16106	歴史学入門（日本史）Ⅱ	2		●												
				REG16107	歴史学入門（東洋史）Ⅰ	2	●													
				REG16108	歴史学入門（東洋史）Ⅱ	2		●												
				REG16109	歴史学入門（西洋史）Ⅰ	2	●													
				REG16110	歴史学入門（西洋史）Ⅱ	2		●												
				REG16111	日本文化論Ⅰ	2	●													
				REG16112	日本文化論Ⅱ	2		●												
				REG16113	外国文化論（アジア）Ⅰ	2	●													
				REG16114	外国文化論（アジア）Ⅱ	2		●												
				REG16115	外国文化論（西欧）Ⅰ	2	●													
				REG16116	外国文化論（西欧）Ⅱ	2		●												
				REG16117	イスラム学Ⅰ	2	●													
				REG16118	イスラム学Ⅱ	2		●												
				REG16119	（外）日本事情（文化と生活）	2	●										留学生履修科目			
				REG16120	（外）日本の思想	2	●										留学生履修科目			
	REG16121			（外）日本の現在	2		●									留学生履修科目				
	社会	社	会	LSO16101	経済学Ⅰ	2	●													
				LSO16102	経済学Ⅱ	2		●												
				LSO16103	社会学Ⅰ	2	●													
				LSO16104	社会学Ⅱ	2		●												
				LSO16105	心理学Ⅰ	2	●													
				LSO16106	心理学Ⅱ	2		●												
				LSO16107	教育学Ⅰ	2	●													
				LSO16108	教育学Ⅱ	2		●												
				LSO16109	現代女性論Ⅰ	2	●													
				LSO16110	現代女性論Ⅱ	2		●												
				LSO16111	社会環境論Ⅰ	2	●													
				LSO16112	社会環境論Ⅱ	2		●												
	自然	自	然	NAT16101	数学Ⅰ	2	●													
				NAT16102	数学Ⅱ	2		●												
				NAT16103	地球科学Ⅰ	2	●													
				NAT16104	地球科学Ⅱ	2		●												
				NAT16105	物質科学Ⅰ	2	●													
				NAT16106	物質科学Ⅱ	2		●												
				NAT16107	生命科学Ⅰ	2	●													
				NAT16108	生命科学Ⅱ	2		●												
				NAT16109	生態学Ⅰ	2	●													
				NAT16110	生態学Ⅱ	2		●												
				NAT16111	自然地理学Ⅰ	2	●													
				NAT16112	自然地理学Ⅱ	2		●												
				NAT16113	自然環境論Ⅰ	2	●													
				NAT16114	自然環境論Ⅱ	2		●												
	スポーツ・健康	ス	ポ	ー	ツ	・	健	康	SPH16101	スポーツ科学Ⅰ	2	●								
									SPH16102	スポーツ科学Ⅱ	2		●							
									SPH16103	健康科学論Ⅰ	2	●								
SPH16104									健康科学論Ⅱ	2		●								
SPH16105									選択スポーツトレーニング実技Ⅰ	1	●									
SPH16106									選択スポーツトレーニング実技Ⅱ	1		●								
SPH16107									生涯スポーツの理論と実技	2	●									

* 春学期に記号がある科目が春学期の時間割にない場合は、秋学期の時間割を見てください。

4. キャリア科目

キャリア科目は選択必修科目です。キャリア形成、社会・企業研究、進路支援、学科選定の区分があります。表にある科目から選択して、6単位以上を履修します。

キャリア科目には、RKU 入門などの認定科目が含まれています。これらの認定科目は、時間割にはありません。認定科目については、「19. 単位の認定」に詳しい説明があります。

(特) の付いている科目は特別奨学生が履修登録する科目です。これらの科目は年間の最高履修単位数には含まれません。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考		
選択必修科目 6単位以上	キャリア	キャリア形成	CAD16101	R K U入門	1	■								認定科目		
			CAD16202	R K U実践	1			●							認定科目	
			CAD16203	(外) ビジネス日本語 I	1			●							留学生履修科目	
			CAD16204	(外) ビジネス日本語 II	1				●						留学生履修科目	
			CAD16105	(特) グローバルコミュニケーション (基礎)	1	◆										特別奨学生履修科目
			CAD16206	(特) グローバルコミュニケーション (発展)	1			◆								特別奨学生履修科目
			CAD16107	(特) キャリア特講 (基礎)	2	◆										特別奨学生履修科目
			CAD16208	(特) キャリア特講 (発展)	2			◆								特別奨学生履修科目
			CAD16309	(特) キャリア特講 (職業)	2						◆					特別奨学生履修科目
			CAD16110	キャリアデザイン	2	●										
			CAD16111	キャリアマネジメント	2		●									
			CAD16212	キャリアアカウンセリング	2					●						
			CAD16113	海外研修	2	●										認定科目
	社会・企業研究			SCR16101	災害ボランティア I	1	●								認定科目	
				SCR16102	災害ボランティア II	1	●									認定科目
				SCR16203	日本通運寄付講座	2			●							
				SCR01110	日本通運寄付講座 II	2				●						
				SCR16204	全国通運連盟寄付講座	2			●							
				SCR16205	野村証券寄付講座	2			●							
				SCR16206	ダイレクトマーケティング実践講座	2			●							
				SCR16207	インターンシップ (準備)	2			●							
				SCR16208	インターンシップ (報告)	2				●						
				SCR16109	インターンシップ (海外)	2	●									
	SCR16110	地域ロジスティクス実践講座	2						●							
	進路支援			COS16101	キャリア基礎 (言語)	1	■	■								
				COS16102	キャリア基礎 (計算)	1	■	■								
				COS16203	キャリア発展 (文章)	1			■	■						
				COS16204	キャリア発展 (数理)	1			■	■						
				COS16305	職業選択論	2						●				
	学科選定			DES16101	法学部生のキャリアデザイン	2	●									
				DES16202	キャリアスキル A (数理) I	2			●							
				DES16203	キャリアスキル A (数理) II	2				●						
				DES16304	キャリアスキル B (時事・教養)	2						●				
DES16305				キャリアスキル C (論作文)	2							●				

* 春学期に記号がある科目が春学期の時間割にない場合は、秋学期の時間割を見てください。

5. 専門科目

専門科目は必修科目、選択必修科目と選択科目に分かれており、専門共通、専門基幹、専門展開の区分があります。

(1) 必修科目

1学年において、「市民と法Ⅰ・Ⅱ」および「国家と法Ⅰ・Ⅱ」を履修します。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単 位	1 春	1 秋	2 春	2 秋	3 春	3 秋	4 春	4 秋	備考
必修 科目 8単位	専門 共通		BLC16101	市民と法Ⅰ	2	◎								
			BLC16102	市民と法Ⅱ	2		◎							
			BLC16103	国家と法Ⅰ	2	◎								
			BLC16104	国家と法Ⅱ	2		◎							

(2) 選択必修科目

専門基幹科目から選択して、36単位以上を履修します。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単 位	1 春	1 秋	2 春	2 秋	3 春	3 秋	4 春	4 秋	備考
選択 必修 科目 36 単位 以上	専門 基幹		BLB16101	法学の基礎Ⅰ	2	●								
			BLB16102	法学の基礎Ⅱ	2		●							
			BLB16203	憲法Ⅰ	2			●						
			BLB16204	憲法Ⅱ	2				●					
			BLB16205	民法1（総則）	2			●						
			BLB16206	民法2（物権）	2				●					
			BLB16207	民法3（債権各論）Ⅰ	2			●						
			BLB16208	民法3（債権各論）Ⅱ	2				●					
			BLB16309	民法4（債権総論）	2					●				
			BLB16310	民法5（担保法）	2						●			
			BLB16211	家族法Ⅰ	2			●						
			BLB16212	家族法Ⅱ	2				●					
			BLB16213	裁判法概論	2			●						
			BLB16214	刑法（総論）Ⅰ	2			●						
			BLB16215	刑法（総論）Ⅱ	2				●					
			BLB16316	刑法（各論）Ⅰ	2					●				
			BLB16317	刑法（各論）Ⅱ	2						●			
			BLB16218	行政法（行政作用法）Ⅰ	2			●						
			BLB16219	行政法（行政作用法）Ⅱ	2				●					
			BLB16220	商法（会社法）Ⅰ	2			●						
			BLB16221	商法（会社法）Ⅱ	2				●					
			BLB16222	政治学Ⅰ	2			●						
			BLB16223	政治学Ⅱ	2				●					
			BLB16224	法制史Ⅰ	2			●						
			BLB16225	法制史Ⅱ	2				●					
			BLB16226	法律実務研究	2			●						
			BLB16327	刑事手続法Ⅰ	2					●				
			BLB16328	刑事手続法Ⅱ	2						●			
			BLB16329	商法（手形・小切手法）	2					●				
			BLB16330	商法（総則・商行為法）	2					●				
			BLB16331	商法（保険法）	2					●				
			BLB16332	労働法Ⅰ	2					●				
			BLB16333	労働法Ⅱ	2						●			
			BLB16334	社会保障法	2					●				

* 春学期に記号がある科目が春学期の時間割にない場合は、秋学期の時間割を見てください。

(3) 選択科目

選択科目には専門展開科目と関連科目があり、関連科目にはスポーツ健康科学、経済学、経営学、社会学、流通情報学の区分があります。表から自由に科目を選択して、履修します。

大区 分	中区 分	小区 分	科目番号	科目名	単 位	1 春	1 秋	2 春	2 秋	3 春	3 秋	4 春	4 秋	備考	
選 択 科 目	専 門 展 開		BLA16201	民事手続法	2			○							
			BLA16202	地方自治法	2			○							
			BLA16203	消費者法	2			○							
			BLA16204	国際法 I	2			○							
			BLA16205	国際法 II	2				○						
			BLA16206	日本政治論 I	2			○							
			BLA16207	日本政治論 II	2				○						
			BLA16208	行政学 I	2			○							
			BLA16209	行政学 II	2				○						
			BLA16210	地方自治論 I	2			○							
			BLA16211	地方自治論 II	2				○						
			BLA16212	コミュニティ政策論	2			○							
			BLA16213	観光の法と政策	2			○							
			BLA16214	地域起こし政策論	2			○							
			BLA16215	警察・消防行政概説 I	2			○							
			BLA16216	警察・消防行政概説 II	2				○						
			BLA16317	防災政策論	2					○					
			BLA16318	危機管理論	2					○					
			BLA16319	金融取引法	2					○					
			BLA16320	国際ビジネス法	2					○					
			BLA16321	物流関係法	2					○					
			BLA16322	経済法 I	2					○					
			BLA16323	経済法 II	2						○				
				BLA16349	民事訴訟法 I	2					○				
				BLA16350	民事訴訟法 II	2						○			
				BLA16324	倒産処理法 I	2					○				
				BLA16325	倒産処理法 II	2						○			
				BLA16326	民事執行・保全法	2					○				
				BLA16327	行政法（行政救済法）	2					○				
				BLA16328	国際関係論 I	2					○				
				BLA16329	国際関係論 II	2						○			
				BLA16330	公共政策 I	2					○				
				BLA16331	公共政策 II	2						○			
				BLA16332	現代の政治思想	2					○				
				BLA16233	法社会学	2			○						
				BLA16234	法と文化（アジア）I	2			○						
				BLA16235	法と文化（アジア）II	2				○					
				BLA16236	法と文化（欧米）I	2			○						
				BLA16237	法と文化（欧米）II	2				○					
				BLA16351	外国法	2						○			
				BLA16338	スポーツと法（契約）	2					○				
				BLA16339	スポーツと法（事故・人権）	2					○				
				BLA16240	法律専門職特殊講義（行政書士）I	2			○						
				BLA16241	法律専門職特殊講義（行政書士）II	2				○					
				BLA16242	法律専門職特殊講義（宅建士）I	2			○						
				BLA16243	法律専門職特殊講義（宅建士）II	2				○					
				BLA16244	公共法務特殊講義（行政職）I	2			○						
				BLA16245	公共法務特殊講義（行政職）II	2				○					
		BLA16346	法学特殊講義	2					○						
		BLA16347	税法（法人税法）	2					○						
		BLA16348	公務員制度論	2			○								

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
	関連科目	スポーツ健康科学	SPO16201	コーチング論	2			○							
			SPO16202	スポーツとメディア	2				○						
			SPO16203	スポーツと国際協力	2				○						
			SPO16204	スポーツと政治	2				○						
			SPO16205	スポーツと文化	2				○						
			SPO16206	スポーツマネジメント論	2				○						
			SPO16207	スポーツ栄養学Ⅰ	2					○					
			SPO16208	スポーツ外傷・障害と予防	2					○					
			SPO16209	スポーツ社会学	2					○					
			SPO16210	スポーツ心理学	2					○					
			SPO16211	健康づくりとジョギング	2						○				
			SPO16212	体カトレーニング論	2						○				
			SPO16213	発育発達老化の理論・実習	2						○				
			経済学			ECO16201	ミクロ経済学Ⅰ	2			○				
	ECO16202	ミクロ経済学Ⅱ				2				○					
	ECO16203	マクロ経済学Ⅰ				2				○					
	ECO16204	マクロ経済学Ⅱ				2					○				
	ECO16205	労働経済論Ⅰ				2					○				
	ECO16206	労働経済論Ⅱ				2						○			
	ECO16207	金融論Ⅰ				2					○				
	ECO16208	金融論Ⅱ				2						○			
	ECO16209	財政学Ⅰ				2						○			
	ECO16210	財政学Ⅱ				2							○		
	ECO16211	社会保障論Ⅰ				2						○			
	ECO16212	社会保障論Ⅱ				2							○		
	ECO16213	地域経済論Ⅰ				2							○		
	ECO16214	地域経済論Ⅱ	2								○				
	ECO16215	国際経済論Ⅰ	2								○				
	ECO16216	国際経済論Ⅱ	2									○			
	経営学			MAN16201	経営学総論Ⅰ	2			○						
				MAN16202	経営学総論Ⅱ	2				○					
				MAN16203	会計学Ⅰ	2					○				
				MAN16204	会計学Ⅱ	2						○			
				MAN16205	簿記論Ⅰ	2						○			
				MAN16206	簿記論Ⅱ	2							○		
				MAN16207	人的資源管理論Ⅰ	2						○			
				MAN16208	人的資源管理論Ⅱ	2							○		
	社会学			SOL16201	社会福祉原論Ⅰ	2			○						
				SOL16202	社会福祉原論Ⅱ	2				○					
				SOL16203	老人福祉論	2					○				
				SOL16204	児童・家庭福祉論	2						○			
				SOL16205	障害者福祉論	2						○			
				SOL16206	地域福祉論Ⅰ	2							○		
				SOL16207	地域福祉論Ⅱ	2								○	
				SOL16208	公的扶助論	2							○		
				SOL16209	福祉行財政と福祉計画論	2								○	
				SOL16210	対人関係論	2								○	
SOL16211				社会心理学	2									○	
流通情報学			DIS16201	ロジスティクス概論Ⅰ	2			○							
			DIS16202	ロジスティクス概論Ⅱ	2					○					

* 春学期に記号がある科目が春学期の時間割にない場合は、秋学期の時間割をご覧ください。

6. 教職科目

教員免許を取得するために必要な科目です。教員免許を取得するためには、表にある科目以外にも履修しなければならない科目がありますので、別冊「教職課程・履修の手引き」を参照してください。

(1) 選択科目

表にある科目の20単位までを卒業単位に算入することができます。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
選択科目	教職		TEA16101	教師論	2	○									
			TEA16102	教育原理	2	○									
			TEA16103	教育心理学	2	○									
			TEA16104	教育社会学概論	2	○									
			TEA16205	教育課程論	2			○							
			TEA16206	道徳教育論	2			○							
			TEA16210	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2			○							
			TEA16211	生徒指導論（進路指導及びキャリア教育を含む）	2			○							
			TEA16212	教育相談（カウンセリングを含む）	2			○							
			TEA16310	教育方法学	2					○					

* 春学期に記号がある科目が春学期の時間割にない場合は、秋学期の時間割を見てください。

(2) 自由科目

卒業単位には算入されない科目です。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
自由科目	教職		TEA16105	日本史概説 I	2	◎									
			TEA16106	東洋史概説 I	2	◎									
			TEA16107	西洋史概説	2	◎									
			TEA16108	人文地理学概説	2	◎									
			TEA16109	自然地理学概説	2	◎									
			TEA16213	地誌	2			◎							
			TEA16110	教育史	2	◎									
			TEA16214	特別な支援を要する生徒の理解	2			◎							
			TEA16311	社会科・地歴科教育法	4					◎					
			TEA16312	社会科・公民科教育法	4					◎					
			TEA16313	介護入門	2					◎					
			TEA16314	教育実習事前指導	1							◎			
			TEA16401	教育実習（中学校）	4								◎		
			TEA16402	教育実習（高等学校）	2									◎	
	TEA16403	教職実践演習（中・高）	2										◎		

* 春学期に記号がある科目が春学期の時間割にない場合は、秋学期の時間割を見てください。

卒業に必要な単位数

卒業するために必要な必修科目、選択必修科目、選択科目の単位数は下表の通りです。

授業科目		修得単位数		
必修科目	基本科目	20 単位	36 単位	
	外国語科目	6 単位		
	教養科目	2 単位		
	専門共通科目	8 単位		
選択必修科目	外国語科目	2 単位	68 単位以上	左記を含め 88 単位以上
	キャリア科目	6 単位以上		
	教養科目	24 単位以上		
	専門基幹科目	36 単位以上		
選択科目	外国語科目			
	専門展開科目			
	関連科目			
	教職科目			
合計		124 単位		
自由科目	教職科目	(卒業単位には含まれません)		

卒業に必要な単位数は 124 単位であり、このうち必修科目の単位数は 36 単位です。残りの単位数は 88 単位ですので、選択必修科目と選択科目から 88 単位以上を履修しなければなりません。選択必修科目で指定されている履修単位数は 68 単位ですので、不足する 20 単位は、選択必修科目と選択科目から自由に履修してください。

自治行政学科 教育課程表

1. 基本科目

自治行政学科の基本科目はすべて必修科目であり、合計で20単位あります。表にあるすべての科目を履修します。

1年演習、2年演習、3年演習、4年演習は通年科目です。演習の履修については「17. 演習の履修」に詳しい説明があります。

1学年において、「情報リテラシー演習Ⅰ・Ⅱ」を履修します。指定されたクラスで履修してください。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考
必修科目 20単位	演習		SEM17101	1年演習	4	◎								
			SEM17202	2年演習	4			◎						
			SEM17303	3年演習	4					◎				
			SEM17404	4年演習	4								◎	
	情報基礎		EIL17101	情報リテラシー演習Ⅰ	2	◎								
			EIL17102	情報リテラシー演習Ⅱ	2		◎							

2. 外国語科目

外国語科目には、英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、朝鮮・韓国語と日本語の8言語があり、必修科目、選択必修科目と選択科目に分かれています。

(1) 必修科目

外国人留学生を除く学生は英語が必修科目、外国人留学生は日本語が必修科目です。外国人留学生を除く学生は1学年で4単位、2学年で2単位の英語を履修します。外国人留学生は1学年で4単位、2学年で2単位の日本語を履修します。指定されたクラスで履修してください。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
必修科目 6単位	外国語	英語	ENG17101	Comprehensive English 初級Ⅰ	1	◎									
			ENG17102	Comprehensive English 初級Ⅱ	1		◎								
			ENG17103	Introduction to TOEIC Ⅰ	1	◎									
			ENG17104	Introduction to TOEIC Ⅱ	1		◎								
			ENG17205	English Communication 初級Ⅰ	1			◎							
			ENG17206	English Communication 初級Ⅱ	1				◎						
	日本語	JPN17101	(外) 日本語AⅠ	1	◎									留学生履修科目	
		JPN17102	(外) 日本語AⅡ	1		◎								留学生履修科目	
		JPN17103	(外) 日本語BⅠ	1	◎									留学生履修科目	
		JPN17104	(外) 日本語BⅡ	1		◎								留学生履修科目	
		JPN17205	(外) 日本語CⅠ	1			◎							留学生履修科目	
		JPN17206	(外) 日本語CⅡ	1				◎						留学生履修科目	

(2) 選択必修科目

選択必修科目の外国語は7言語です。外国人留学生を除く学生はフランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、朝鮮・韓国語から1つの言語（2単位）を入学時に選択して、1学年で履修します。外国人留学生は日本語（2単位）を2学年で履修します。指定されたクラスで履修してください。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
選択必修科目 2単位	外国語	フランス語	FRA17101	初級フランス語Ⅰ	1	◆									
			FRA17102	初級フランス語Ⅱ	1		◆								
		ドイツ語	GER17101	初級ドイツ語Ⅰ	1	◆									
			GER17102	初級ドイツ語Ⅱ	1		◆								
		スペイン語	SPA17101	初級スペイン語Ⅰ	1	◆									
			SPA17102	初級スペイン語Ⅱ	1		◆								
		ポルトガル語	POR17101	初級ポルトガル語Ⅰ	1	◆									
			POR17102	初級ポルトガル語Ⅱ	1		◆								
		中国語	CHI17101	初級中国語Ⅰ	1	◆									
			CHI17102	初級中国語Ⅱ	1		◆								
		朝鮮・韓国語	KOR17101	初級朝鮮・韓国語Ⅰ	1	◆									
			KOR17102	初級朝鮮・韓国語Ⅱ	1		◆								
		日本語	JPN17207	(外) 日本語DⅠ	1				◆						留学生履修科目
			JPN17208	(外) 日本語DⅡ	1					◆					留学生履修科目

(3) 選択科目

選択科目の外国語には、英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、中国語と朝鮮・韓国語があります。2学年以上で履修できる会話の授業は、選択必修科目の外国語または選択科目での第三外国語の履修を終えた者に限ります。

また、選択必修科目で履修した外国語と同じ語学で、第三外国語を履修することはできません。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
選択科目	外国語	フランス語	FRA11205	初級フランス語Ⅰ（第三外国語）	1	○									
			FRA11206	初級フランス語Ⅱ（第三外国語）	1		○								
		ドイツ語	GER11205	初級ドイツ語Ⅰ（第三外国語）	1	○									
			GER11206	初級ドイツ語Ⅱ（第三外国語）	1		○								
		スペイン語	SPA11205	初級スペイン語Ⅰ（第三外国語）	1	○									
			SPA11206	初級スペイン語Ⅱ（第三外国語）	1		○								
		ポルトガル語	POR11205	初級ポルトガル語Ⅰ（第三外国語）	1	○									
			POR11206	初級ポルトガル語Ⅱ（第三外国語）	1		○								
		中国語	CHI11205	初級中国語Ⅰ（第三外国語）	1	○									
			CHI11206	初級中国語Ⅱ（第三外国語）	1		○								
		朝鮮・韓国語	KOR11205	初級朝鮮・韓国語Ⅰ（第三外国語）	1	○									
			KOR11206	初級朝鮮・韓国語Ⅱ（第三外国語）	1		○								
		英語	ENG17207	Comprehensive English 中級Ⅰ	1			○							
			ENG17208	Comprehensive English 中級Ⅱ	1				○						
			ENG17209	資格英語Ⅰ	1			○							
			ENG17210	資格英語Ⅱ	1				○						
			ENG17211	メディア英語Ⅰ	1			○							
			ENG17212	メディア英語Ⅱ	1				○						
			ENG17213	English WritingⅠ	1			○							
			ENG17214	English WritingⅡ	1				○						
ENG17215	English ReadingⅠ		1			○									
ENG17216	English ReadingⅡ		1				○								
ENG17317	English Communication 中級Ⅰ	1					○								
ENG17318	English Communication 中級Ⅱ	1						○							

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
		フランス語	FRA17203	フランス語会話Ⅰ	1			○							
			FRA17204	フランス語会話Ⅱ	1				○						
		ドイツ語	GER17203	ドイツ語会話Ⅰ	1			○							
			GER17204	ドイツ語会話Ⅱ	1				○						
		スペイン語	SPA17203	スペイン語会話Ⅰ	1			○							
			SPA17204	スペイン語会話Ⅱ	1				○						
		ポルトガル語	POR17203	ポルトガル語会話Ⅰ	1			○							
			POR17204	ポルトガル語会話Ⅱ	1				○						
		中国語	CHI17203	中国語会話Ⅰ	1			○							
			CHI17204	中国語会話Ⅱ	1				○						
		朝鮮・韓国語	KOR17203	朝鮮・韓国語会話Ⅰ	1			○							
			KOR17204	朝鮮・韓国語会話Ⅱ	1				○						

3. 教養科目

教養科目は必修科目と選択必修科目に分かれています。

(1) 必修科目

2学年において、「リベラルアーツ演習」を履修します。履修方法については、別途掲示します。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考
必修科目 2単位	教養 共通		LIA17201	リベラルアーツ演習	2			◎						

* 春学期に記号がある科目が春学期の時間割にない場合は、秋学期の時間割を見てください。

(2) 選択必修科目

選択必修科目には、人文、地域、社会、自然、スポーツ・健康の区分があります。表の科目から選択して、24単位以上を履修します。すべての科目を1学年から履修することができます。

(外) が付いている科目名は外国人留学生在が履修登録できる科目です。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
選択 必修 科目 24 単位 以上	教養 基礎	人 文	HUM17101	哲学Ⅰ	2	●									
			HUM17102	哲学Ⅱ	2		●								
			HUM17103	社会倫理学Ⅰ	2	●									
			HUM17104	社会倫理学Ⅱ	2		●								
			HUM17105	宗教学Ⅰ	2	●									
			HUM17106	宗教学Ⅱ	2		●								
			HUM17107	美術史Ⅰ	2	●									
			HUM17108	美術史Ⅱ	2		●								
			HUM17109	言語論Ⅰ	2	●									
			HUM17110	言語論Ⅱ	2		●								
			HUM17111	現代文章論Ⅰ	2	●									
			HUM17112	現代文章論Ⅱ	2		●								
			HUM17113	考古学Ⅰ	2	●									
			HUM17114	考古学Ⅱ	2		●								
			HUM17115	人文地理学Ⅰ	2	●									
			HUM17116	人文地理学Ⅱ	2		●								

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
	人文 地域		HUM17117	民俗学Ⅰ	2	●									
			HUM17118	民俗学Ⅱ	2		●								
			REG17101	文学（日本文学）Ⅰ	2	●									
			REG17102	文学（日本文学）Ⅱ	2		●								
			REG17103	文学（外国文学）Ⅰ	2	●									
			REG17104	文学（外国文学）Ⅱ	2		●								
			REG17105	歴史学入門（日本史）Ⅰ	2	●									
			REG17106	歴史学入門（日本史）Ⅱ	2		●								
			REG17107	歴史学入門（東洋史）Ⅰ	2	●									
			REG17108	歴史学入門（東洋史）Ⅱ	2		●								
			REG17109	歴史学入門（西洋史）Ⅰ	2	●									
			REG17110	歴史学入門（西洋史）Ⅱ	2		●								
			REG17111	日本文化論Ⅰ	2	●									
			REG17112	日本文化論Ⅱ	2		●								
			REG17113	外国文化論（アジア）Ⅰ	2	●									
			REG17114	外国文化論（アジア）Ⅱ	2		●								
			REG17115	外国文化論（西欧）Ⅰ	2	●									
			REG17116	外国文化論（西欧）Ⅱ	2		●								
			REG17117	イスラム学Ⅰ	2	●									
			REG17118	イスラム学Ⅱ	2		●								
			REG17119	（外）日本事情（文化と生活）	2	●									留学生履修科目
			REG17120	（外）日本の思想	2	●									留学生履修科目
		REG17121	（外）日本の現在	2		●								留学生履修科目	
		社会		LSO17101	経済学Ⅰ	2	●								
			LSO17102	経済学Ⅱ	2		●								
			LSO17103	社会学Ⅰ	2	●									
			LSO17104	社会学Ⅱ	2		●								
			LSO17105	心理学Ⅰ	2	●									
			LSO17106	心理学Ⅱ	2		●								
			LSO17107	教育学Ⅰ	2	●									
			LSO17108	教育学Ⅱ	2		●								
			LSO17109	現代女性論Ⅰ	2	●									
			LSO17110	現代女性論Ⅱ	2		●								
			LSO17111	社会環境論Ⅰ	2	●									
			LSO17112	社会環境論Ⅱ	2		●								
		自然		NAT17101	数学Ⅰ	2	●								
			NAT17102	数学Ⅱ	2		●								
			NAT17103	地球科学Ⅰ	2	●									
			NAT17104	地球科学Ⅱ	2		●								
			NAT17105	物質科学Ⅰ	2	●									
			NAT17106	物質科学Ⅱ	2		●								
			NAT17107	生命科学Ⅰ	2	●									
			NAT17108	生命科学Ⅱ	2		●								
			NAT17109	生態学Ⅰ	2	●									
			NAT17110	生態学Ⅱ	2		●								
			NAT17111	自然地理学Ⅰ	2	●									
			NAT17112	自然地理学Ⅱ	2		●								
			NAT17113	自然環境論Ⅰ	2	●									
			NAT17114	自然環境論Ⅱ	2		●								
		スポーツ・健康		SPH17101	スポーツ科学Ⅰ	2	●								
			SPH17102	スポーツ科学Ⅱ	2		●								
			SPH17103	健康科学論Ⅰ	2	●									
	SPH17104		健康科学論Ⅱ	2		●									
	SPH17105		選択スポーツトレーニング実技Ⅰ	1	●										
	SPH17106		選択スポーツトレーニング実技Ⅱ	1		●									
	SPH17107		生涯スポーツの理論と実技	2	●										

* 春学期に記号がある科目が春学期の時間割にない場合は、秋学期の時間割を見てください。

4. キャリア科目

キャリア科目は選択必修科目です。キャリア形成、社会・企業研究、進路支援、学科選定の区分があります。表にある科目から選択して、6単位以上を履修します。

キャリア科目には、RKU 入門などの認定科目が含まれています。これらの認定科目は、時間割にはありません。認定科目については、「19. 単位の認定」に詳しい説明があります。

(特) の付いている科目は特別奨学生が履修登録する科目です。これらの科目は年間の最高履修単位数には含まれません。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
選択必修科目 6単位以上	キャリア形成	キ	CAD17101	R K U 入門	1	■								認定科目	
		キ	CAD17202	R K U 実践	1			●						認定科目	
		キ	CAD17203	(外) ビジネス日本語 I	1			●						留学生履修科目	
		キ	CAD17204	(外) ビジネス日本語 II	1				●					留学生履修科目	
		キ	CAD17105	(特) グローバルコミュニケーション (基礎)	1	◆									特別奨学生履修科目
		キ	CAD17206	(特) グローバルコミュニケーション (発展)	1			◆							特別奨学生履修科目
		キ	CAD17107	(特) キャリア特講 (基礎)	2	◆									特別奨学生履修科目
		キ	CAD17208	(特) キャリア特講 (発展)	2			◆							特別奨学生履修科目
		キ	CAD17309	(特) キャリア特講 (職業)	2					◆					特別奨学生履修科目
		キ	CAD17110	キャリアデザイン	2	●									
		キ	CAD17111	キャリアマネジメント	2		●								
		キ	CAD17212	キャリアカウンセリング	2				●						
		キ	CAD17113	海外研修	2	●									認定科目
	キ	社会・企業研究	SCR17101	災害ボランティア I	1	●									認定科目
	キ		SCR17102	災害ボランティア II	1	●									認定科目
	キ		SCR17203	日本通運寄付講座	2			●							
	キ		SCR01110	日本通運寄付講座 II	2				●						
	キ		SCR17204	全国通運連盟寄付講座	2			●							
	キ		SCR17205	野村証券寄付講座	2			●							
	キ		SCR17206	ダイレクトマーケティング実践講座	2			●							
	キ		SCR17207	インターンシップ (準備)	2			●							
	キ		SCR17208	インターンシップ (報告)	2				●						
	キ		SCR17109	インターンシップ (海外)	2	●									認定科目
	キ	SCR17110	地域ロジスティクス実践講座	2						●					
	キ	進路支援	COS17101	キャリア基礎 (言語)	1	■	■								
	キ		COS17102	キャリア基礎 (計算)	1	■	■								
	キ		COS17203	キャリア発展 (文章)	1			■	■						
	キ		COS17204	キャリア発展 (数理)	1			■	■						
	キ		COS17305	職業選択論	2						●				
	キ	学科選定	DES17101	法学部生のキャリアデザイン	2	●									
	キ		DES17202	キャリアスキル A (数理) I	2			●							
	キ		DES17203	キャリアスキル A (数理) II	2				●						
	キ		DES17304	キャリアスキル B (時事・教養)	2					●					
キ	DES17305		キャリアスキル C (論作文)	2						●					

* 春学期に記号がある科目が春学期の時間割にない場合は、秋学期の時間割を見てください。

5. 専門科目

専門科目は必修科目、選択必修科目と選択科目に分かれており、専門共通、専門基幹、専門展開の区分があります。

(1) 必修科目

1学年において、「市民と法Ⅰ・Ⅱ」、「国家と法Ⅰ・Ⅱ」を履修します。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考
必修科目 8単位	専門 共通		SGC17101	市民と法Ⅰ	2	◎								
			SGC17102	市民と法Ⅱ	2		◎							
			SGC17103	国家と法Ⅰ	2	◎								
			SGC17104	国家と法Ⅱ	2		◎							

(2) 選択必修科目

専門基幹科目から選択して、36単位以上を履修します。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考
選択必修科目 36単位以上	専門 基幹		SGB17101	法学の基礎Ⅰ	2	●								
			SGB17102	法学の基礎Ⅱ	2		●							
			SGB17203	憲法Ⅰ	2			●						
			SGB17204	憲法Ⅱ	2				●					
			SGB17205	民法1（総則）	2			●						
			SGB17206	民法2（物権）	2				●					
			SGB17307	民法3（債権各論）Ⅰ	2					●				
			SGB17308	民法3（債権各論）Ⅱ	2						●			
			SGB17209	家族法Ⅰ	2			●						
			SGB17210	家族法Ⅱ	2				●					
			SGB17211	刑法（総論）Ⅰ	2			●						
			SGB17212	刑法（総論）Ⅱ	2				●					
			SGB17213	裁判法概論	2			●						
			SGB17214	行政法（行政作用法）Ⅰ	2			●						
			SGB17215	行政法（行政作用法）Ⅱ	2				●					
			SGB17216	法律実務研究	2			●						
			SGB17217	政治学Ⅰ	2			●						
			SGB17218	政治学Ⅱ	2				●					
			SGB17219	日本政治論Ⅰ	2			●						
			SGB17220	日本政治論Ⅱ	2				●					
			SGB17221	行政学Ⅰ	2			●						
			SGB17222	行政学Ⅱ	2				●					
			SGB17223	地方自治論Ⅰ	2			●						
			SGB17224	地方自治論Ⅱ	2				●					
			SGB17325	地方自治法	2					●				
			SGB17326	コミュニティ政策論	2					●				
			SGB17327	行政法（行政救済法）	2					●				
			SGB17328	公共政策Ⅰ	2					●				
			SGB17329	公共政策Ⅱ	2						●			
			SGB17330	国際関係論Ⅰ	2					●				
			SGB17331	国際関係論Ⅱ	2						●			
			SGB17332	社会保障法	2					●				
			SGB17333	法制史Ⅰ	2			●						
			SGB17334	法制史Ⅱ	2				●					

*春学期に記号がある科目が春学期の時間割にない場合は、秋学期の時間割を見てください。

(3) 選択科目

選択科目には専門展開科目と関連科目があり、関連科目にはスポーツ健康科学、経済学、経営学、社会学、流通情報学の区分があります。表から自由に科目を選択して、履修します。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
選択科目	専門展開		SGA17201	刑法（各論）Ⅰ	2			○							
			SGA17202	刑法（各論）Ⅱ	2				○						
			SGA17203	刑事手続法Ⅰ	2			○							
			SGA17204	刑事手続法Ⅱ	2				○						
			SGA17205	民事手続法	2			○							
			SGA17206	観光の法と政策	2			○							
			SGA17207	地域起こし政策論	2			○							
			SGA17208	警察・消防行政概説Ⅰ	2			○							
			SGA17209	警察・消防行政概説Ⅱ	2				○						
			SGA17310	防災政策論	2					○					
			SGA17311	危機管理論	2					○					
			SGA17212	現代の政治思想	2			○							
			SGA17213	商法（会社法）Ⅰ	2			○							
			SGA17214	商法（会社法）Ⅱ	2				○						
			SGA17215	国際法Ⅰ	2			○							
			SGA17216	国際法Ⅱ	2				○						
			SGA17317	民法4（債権総論）	2					○					
			SGA17318	民法5（担保法）	2						○				
			SGA17319	労働法Ⅰ	2					○					
			SGA17320	労働法Ⅱ	2						○				
			SGA17321	経済法Ⅰ	2					○					
			SGA17322	経済法Ⅱ	2						○				
			SGA17349	民事訴訟法Ⅰ	2						○				
			SGA17350	民事訴訟法Ⅱ	2							○			
			SGA17323	倒産処理法Ⅰ	2					○					
			SGA17324	倒産処理法Ⅱ	2						○				
			SGA17325	国際ビジネス法	2					○					
			SGA17326	物流関係法	2					○					
			SGA17327	消費者法	2					○					
			SGA17328	商法（総則・商行為法）	2					○					
			SGA17329	商法（手形・小切手法）	2					○					
			SGA17330	商法（保険法）	2					○					
			SGA17331	金融取引法	2					○					
			SGA17332	民事執行・保全法	2					○					
			SGA17233	法社会学	2			○							
			SGA17234	法と文化（アジア）Ⅰ	2			○							
			SGA17235	法と文化（アジア）Ⅱ	2				○						
			SGA17236	法と文化（欧米）Ⅰ	2			○							
			SGA17237	法と文化（欧米）Ⅱ	2				○						
			SGA17351	外国法	2					○					
			SGA17338	スポーツと法（契約）	2					○					
			SGA17339	スポーツと法（事故・人権）	2					○					
			SGA17240	公共法務特殊講義（行政職）Ⅰ	2			○							
			SGA17241	公共法務特殊講義（行政職）Ⅱ	2				○						
			SGA17242	法律専門職特殊講義（行政書士）Ⅰ	2			○							
			SGA17243	法律専門職特殊講義（行政書士）Ⅱ	2				○						
			SGA17244	法律専門職特殊講義（宅建士）Ⅰ	2			○							
			SGA17245	法律専門職特殊講義（宅建士）Ⅱ	2				○						
	SGA17346	法学特殊講義	2					○							
	SGA17347	税法（法人税法）	2					○							
	BLA16348	公務員制度論	2			○									

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
	関連科目	スポーツ健康科学	SPO17201	コーチング論	2			○							
			SPO17202	スポーツとメディア	2				○						
			SPO17203	スポーツと国際協力	2			○							
			SPO17204	スポーツと政治	2				○						
			SPO17205	スポーツと文化	2			○							
			SPO17206	スポーツマネジメント論	2			○							
			SPO17207	スポーツ栄養学 I	2				○						
			SPO17208	スポーツ外傷・障害と予防	2			○							
			SPO17209	スポーツ社会学	2				○						
			SPO17210	スポーツ心理学	2			○							
			SPO17211	健康づくりとジョギング	2				○						
			SPO17212	体力トレーニング論	2			○							
			SPO17213	発育発達老化の理論・実習	2					○					
	経済学	ECO17201	ミクロ経済学 I	2			○								
		ECO17202	ミクロ経済学 II	2				○							
		ECO17203	マクロ経済学 I	2			○								
		ECO17204	マクロ経済学 II	2				○							
		ECO17205	金融論 I	2			○								
		ECO17206	金融論 II	2				○							
		ECO17207	財政学 I	2			○								
		ECO17208	財政学 II	2				○							
		ECO17209	社会保障論 I	2			○								
		ECO17210	社会保障論 II	2				○							
		ECO17311	地方財政論 I	2						○					
		ECO17312	地方財政論 II	2							○				
		ECO17213	地域経済論 I	2			○								
		ECO17214	地域経済論 II	2				○							
		ECO17215	国際経済論 I	2			○								
		ECO17216	国際経済論 II	2				○							
	経営学	MAN17201	経営学総論 I	2			○								
		MAN17202	経営学総論 II	2				○							
		MAN17203	会計学 I	2			○								
		MAN17204	会計学 II	2				○							
		MAN17205	簿記論 I	2			○								
		MAN17206	簿記論 II	2				○							
		MAN17207	人的資源管理論 I	2			○								
		MAN17208	人的資源管理論 II	2				○							
	社会学	SOL17201	社会調査法	2			○								
		SOL17202	地域社会学	2			○								
		SOL17203	社会福祉原論 I	2			○								
		SOL17204	社会福祉原論 II	2				○							
		SOL17205	老人福祉論	2			○								
		SOL17206	児童・家庭福祉論	2			○								
SOL17207		障害者福祉論	2			○									
SOL17208		地域福祉論 I	2			○									
SOL17209		地域福祉論 II	2				○								
SOL17210		公的扶助論	2			○									
SOL17211		福祉行財政と福祉計画論	2			○									
SOL17212		対人関係論	2			○									
SOL17213		社会心理学	2			○									

* 春学期に記号がある科目が春学期の時間割にない場合は、秋学期の時間割を見てください。

6. 教職科目

教員免許を取得するために必要な科目です。教員免許を取得するためには、表にある科目以外にも履修しなければならない科目がありますので、別冊「教職課程・履修の手引き」を参照してください。

(1) 選択科目

表にある科目の20単位までを卒業単位に算入することができます。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
選択科目	教職		TEA17101	教師論	2	○									
			TEA17102	教育原理	2	○									
			TEA17103	教育心理学	2	○									
			TEA17104	教育社会学概論	2	○									
			TEA17205	教育課程論	2			○							
			TEA17206	道徳教育論	2			○							
			TEA17210	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2			○							
			TEA17211	生徒指導論（進路指導及びキャリア教育を含む）	2			○							
			TEA17212	教育相談（カウンセリングを含む）	2			○							
			TEA17310	教育方法学	2						○				

*春学期に記号がある科目が春学期の時間割にない場合は、秋学期の時間割を見てください。

(2) 自由科目

卒業単位には算入されない科目です。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
自由科目	教職		TEA17105	日本史概説 I	2	◎									
			TEA17106	東洋史概説 I	2	◎									
			TEA17107	西洋史概説	2	◎									
			TEA17108	人文地理学概説	2	◎									
			TEA17109	自然地理学概説	2	◎									
			TEA17213	地誌	2			◎							
			TEA17110	教育史	2	◎									
			TEA17214	特別な支援を要する生徒の理解	2			◎							
			TEA17311	社会科・地歴科教育法	4						◎				
			TEA17312	社会科・公民科教育法	4						◎				
			TEA17313	介護入門	2						◎				
			TEA17314	教育実習事前指導	1								◎		
			TEA17401	教育実習（中学校）	4									◎	
			TEA17402	教育実習（高等学校）	2										◎
			TEA17403	教職実践演習（中・高）	2										◎

*春学期に記号がある科目が春学期の時間割にない場合は、秋学期の時間割を見てください。

卒業に必要な単位数

卒業するために必要な必修科目、選択必修科目、選択科目の単位数は下表の通りです。

授業科目		修得単位数	
必修科目	基本科目	20 単位	36 単位
	外国語科目	6 単位	
	教養科目	2 単位	
	専門共通科目	8 単位	
選択必修科目	外国語科目	2 単位	68 単位以上
	キャリア科目	6 単位以上	
	教養科目	24 単位以上	
	専門基幹科目	36 単位以上	
選択科目	外国語科目		
	専門展開科目		
	関連科目		
	教職科目		
合計		124 単位	
自由科目	教職科目	(卒業単位には含まれません)	

卒業に必要な単位数は 124 単位であり、このうち必修科目の単位数は 36 単位です。残りの単位数は 88 単位ですので、選択必修科目と選択科目から 88 単位以上を履修しなければなりません。選択必修科目で指定されている履修単位数は 68 単位ですので、不足する 20 単位は、選択必修科目と選択科目から自由に履修してください。

カリキュラムマップ

一般教養科目は、次のような分野に大別される。

人文分野

人類の歩みと文化、さらに人間のあり方や生き方を考え、正しい言葉遣いに対する意識をはぐくみ、知性と感性のバランスがとれた円満な人格を形成するため、それに不可欠な知識を習得する。

地域分野

世界の特定の地域に焦点を絞り、その歴史、宗教、文化、文学、民俗、民族、などを、フィールドワーク（現地調査）の成果をも踏まえつつ、専門的に掘り下げる。担当者は、独自に蓄えた専門知識を活かし、概論とは一味違う講義を行なうだろう。

社会分野

さまざまな視野や立場から、主として現代社会の仕組みを学ぶとともに、社会の一構成員として責任感をもって生きることの大切さを考える。

自然分野

自然や宇宙のなりたち、ヒトや生き物全般について考察を深め、数理的・論理的な思考方法を身につける。環境問題や生命倫理なども、主としてこの分野で扱う。

スポーツ・健康分野

健康の保持増進に資する科目・実技のほか、スポーツ科学の理論を学ぶ。主体的な身体の実験、つまり、体をみずからの意志で動かし、その効能をみずからの体で感じる、という体験を、理論および実技の両面から積む。「生涯スポーツ」を意識した実践科目を配し、健康長寿に役立つ知識を身につける。

外国語

〔英語〕 1年次、必修科目

「読む」「聞く」「書く」「話す」の4技能をバランスよく伸ばすための「Comprehensive English 初級 I・II」を、さらに、資格試験 TOEIC 受験を念頭において、実用的な英語の運用能力を高めるための「Introduction to TOEIC I・II」を、それぞれ開講する。2年次には、必修科目として、「English Communication 初級 I・II」を開講し、会話を中心としたコミュニケーション能力の向上をめざす。

2年次以降、選択科目

「Comprehensive English 中級 I・II」「資格英語 I・II」「メディア英語 I・II」「English Writing I・II」「English Reading I・II」を、開講する。3年次以降には、選択科目として、「English Communication 中級 I・II」を、開講する。

〔第二外国語〕 1年次、選択必修科目

フランス語、スペイン語、ポルトガル語、ドイツ語、中国語、朝鮮・韓国語より1科目を選択する。

〔日本語〕 1年次、必修科目（外国人留学生対象）

「日本語 A I・II」および「日本語 B I・II」を、開講する。前者では、日本語の資料や文章を、辞書を使いながら読む力を養う。後者では、授業で課されるレポート作成の基礎となる書く力を養い、さらに日本語能力試験 N2 合格レベルの、総合的な日本語力をつける。

2年次以降、必修科目（外国人留学生対象）

「日本語 C I・II」および「日本語 D I・II」を、開講する。前者では、学術的な文章を読みこなす力を、後者では、論文執筆の基礎となる作文力を身につけることを目標とし、日本語能力試験 N1 合格のための実力を養成する。

リベラルアーツ演習

2年次、必修科目（スポーツ健康科学部を除く）

一般教養科目カリキュラムマップ

	外国語科目			教養科目					
	必修科目	選択必修科目	選択科目	必修科目	選択必修科目				
					人文	地域	社会	自然	スポーツ・健康
4年									
3年			English Communication中級I English Communication中級II						
2年	English Communication初級I English Communication初級II (外)日本語C I (外)日本語C II	(外)日本語D I (外)日本語D II	Comprehensive English 中級I Comprehensive English 中級II 資格英語 I 資格英語 II メディア英語 I メディア英語 II English Writing I English Writing II English Reading I English Reading II フランス語会話 I フランス語会話 II ドイツ語会話 I ドイツ語会話 II スペイン語会話 I スペイン語会話 II ポルトガル語会話 I ポルトガル語会話 II 中国語会話 I 中国語会話 II 朝鮮・韓国語会話 I 朝鮮・韓国語会話 II	リベラルアーツ演習	哲学 I 哲学 II 社会倫理学 I 社会倫理学 II 宗教学 I 宗教学 II 美術史 I 美術史 II 言語論 I 言語論 II 現代文章論 I 現代文章論 II 考古学 I 考古学 II 人文地理学 I 人文地理学 II 民俗学 I 民俗学 II	文学(日本文学) I 文学(日本文学) II 文学(外国文学) I 文学(外国文学) II 歴史学入門(日本史) I 歴史学入門(日本史) II 歴史学入門(東洋史) I 歴史学入門(東洋史) II 歴史学入門(西洋史) I 歴史学入門(西洋史) II 日本文化論 I 日本文化論 II 外国文化論(アジア) I 外国文化論(アジア) II 外国文化論(西欧) I 外国文化論(西欧) II イスラム学 I イスラム学 II (外)日本事情(文化と生活) (外)日本の思想 (外)日本の現在	憲法 I 憲法 II 法学 I 法学 II 政治学 I 政治学 II 社会学 I 社会学 II 心理学 I 心理学 II 教育学 I 教育学 II 現代女性論 I 現代女性論 II 社会環境論 I 社会環境論 II	数学 I 数学 II 地球科学 I 地球科学 II 物質科学 I 物質科学 II 生命科学 I 生命科学 II 生態学 I 生態学 II 自然地理学 I 自然地理学 II 自然環境論 I 自然環境論 II	スポーツ科学 I スポーツ科学 II 健康科学論 I 健康科学論 II 選択スポーツトレーニング実技 I 選択スポーツトレーニング実技 II 生涯スポーツの理論と実技
1年	Comprehensive English 初級 I Comprehensive English 初級 II Introduction to TOEIC I Introduction to TOEIC II (外)日本語A I (外)日本語A II (外)日本語B I (外)日本語B II	初級フランス語 I 初級フランス語 II 初級ドイツ語 I 初級ドイツ語 II 初級スペイン語 I 初級スペイン語 II 初級ポルトガル語 I 初級ポルトガル語 II 初級中国語 I 初級中国語 II 初級朝鮮・韓国語 I 初級朝鮮・韓国語 II	初級フランス語 I (第三外国語) 初級フランス語 II (第三外国語) 初級ドイツ語 I (第三外国語) 初級ドイツ語 II (第三外国語) 初級スペイン語 I (第三外国語) 初級スペイン語 II (第三外国語) 初級ポルトガル語 I (第三外国語) 初級ポルトガル語 II (第三外国語) 初級中国語 I (第三外国語) 初級中国語 II (第三外国語) 初級朝鮮・韓国語 I (第三外国語) 初級朝鮮・韓国語 II (第三外国語)						

- ※ (外)は外国人留学生対象の科目です。
- ※ 必修科目に関しては、全て単位取得しなければならない。
- ※ 単位数は、外国語科目に関しては1単位、教養科目に関しては、2単位です。ただし、選択スポーツトレーニング実技 I・IIに関しては、1単位です。
- ※ 選択必修科目の(外)日本語D I および(外)日本語D II は、外国人留学生は必ず履修しなければならない。
- ※ 選択必修科目の外国語科目は、1つの言語(2単位)を必ず履修しなければならない。
- ※ 選択科目の外国語科目は、自由に履修することができる。
- ※ 教養科目の選択必修科目(人文、地域、社会、自然、スポーツ・健康)は、24単位以上履修しなければならない。

キャリア科目カリキュラムマップ

本学のキャリア科目は、就職するためのノウハウを学ぶための科目ではありません。「キャリア」という言葉には様々な意味がありますが、本学では「仕事だけでなく家庭や趣味などを含めた人生全体」と捉えます。キャリア科目は皆さんが大学4年間で成長するための支援の一つとして設定しています。

皆さんのキャリア形成支援は、キャリア科目だけが担うものではありません。皆さんのキャリア形成に大切なのは、1～4年までのゼミと学部・学科の基礎・専門科目です。それらの科目が実際の社会とどのように繋がっているのか、そのヒントは「キャリアデザイン」や「キャリアマネジメント」で得られるでしょう。1年次から履修することができますので、大学4年間の学びや活動などの具体的な目標を設定し、4年間で有意義に過ごすことを「キャリアデザイン」や「キャリアマネジメント」の授業で考えてみましょう。

就職活動における筆記試験に不安を感じている方は、1年次のキャリア基礎でSPI対策を始めましょう。2年次からインターンシップに参加することも、就活だけではなく将来の方向性を決めるために良い経験になります。「インターンシップ（準備）」を履修するとスムーズにインターンシップに取り組めます。

教員のように他者への支援に携わりたい方は、2年次から履修できる「キャリアカウンセリング」、企業への就職を希望する方は「職業選択論」「各種寄付講座」の履修をお勧めします。その他に、認定科目として「RKU実践」「災害ボランティア」など、皆さんの活動をサポートする科目もあります。認定方法は、課程表の「履修の手引き」を確認してください。

キャリア科目群には、各学部学科選定の科目もあります。それらの科目もバランスよく履修しましょう。

参考：流通経済大学4年間のキャリア形成支援

		1年次		2年次		3年次		4年次	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
基本的な考え方		RKU基礎力の醸成 社会へ出るための土台作り				主体的に行動する力の醸成 進路選択への足掛かり			
指針となるテキスト		RKUキャリアガイドブック				就職ガイドブック			
学部教育	少人数教育	1年ゼミ		2年ゼミ		3年ゼミ		4年ゼミ	
	教養・専門領域	語学・必修科目ほか		教養基礎科目ほか		専門基礎科目ほか		専門発展科目ほか	
キャリア科目	キャリア形成基礎	キャリアデザイン	キャリアマネジメント	キャリアカウンセリング					
	社会・企業研究	インターンシップ基礎・各種寄付講座等							
	進路支援	キャリア基礎・キャリア発展		RKU実践					
						職業選択論			
修学支援	教学支援センター	生活・学習サポート							
		修学基礎講座							
教育導入	教学・就職支援センター	RKU WEE K							
就職支援	就職支援センター	キャリアサポート							
		就職支援プログラム							
								就職ガイダンス・セミナー・学内合同企業説明会・各種試験ほか	
その他	課外講座								

キャリア科目カリキュラムマップ

RKUの目指すキャリア形成

* 社会へ出て専門能力を積み上げるための土台をつくること

* 生涯学び成長し続けるための土台をつくること

3年	CP1	(特) キャリア特講 (職業)
	CP3	職業選択論
2年	CP1	(特) キャリア特講 (発展)
	CP1	(特) グローバルコミュニケーション (発展)
	CP1	(外) ビジネス日本語Ⅱ
	CP1	(外) ビジネス日本語Ⅰ
	CP2	インターンシップ (準備)
	CP2	ダイレクトマーケティング実践講座
	CP2	野村証券寄付講座
	CP2	全国通運連盟寄付講座
	CP2	日本通運寄付講座
	CP1	キャリアカウンセリング
	CP3	キャリア発展 (文章) (数理)
	CP1	(認) RKU 実践
1年	CP1	(特) キャリア特講 (基礎)
	CP1	(特) グローバルコミュニケーション (基礎)
	CP2	(認) インターンシップ (海外)
	CP2	(認) 災害ボランティアⅠⅡ
	CP1	(認) 海外研修
	CP3	キャリア基礎 (言語) (計算)
	CP1	キャリアマネジメント
	CP1	キャリアデザイン
	CP1	(認) RKU 入門

キャリア科目のカリキュラムポリシー

CP1. キャリア形成

CP2. 社会・企業研究

CP3. 進路支援

(特) 特別奨学生履修科目

(外) 留学生履修科目

(認) 認定科目

ビジネス法学科のコース制

法学部では、学生の皆さんが将来の進路希望や学問的興味に応じて、授業科目を計画的に履修し、体系的な学修ができるよう、下記のコース制を設け、それぞれ履修の基本指針を定めています。

学生の皆さんは、所属する学科の枠内で、希望するコースを自由に選ぶことができます。どれか一つのコースを選び、「カリキュラムマップ」を参考にしながら履修計画を作成して、希望の実現のために学修してください。

なお、このコース制では登録などの必要はなく、変更も自由です。また、実際の科目の履修順序は、「カリキュラムマップ」の配列順に縛られないので、何学年で履修するかを考える際に、目安として参照してください。

① ビジネス法務コース

現代のビジネスにおいて重要なコーポレート・ガバナンス（企業統治）やコンプライアンス（法令遵守）の意義を理解し、金融や物流、製造などのビジネスシーンで活躍できる人材を育成するコースです。民法、商法、金融取引法、国際ビジネス法などを中心に学びます。

② 法律専門職コース

行政書士や司法書士などの法律関係資格を取得し、かつ、単なる資格取得にとどまらずリーガルマインドの重要性を深く理解した、官民の両方の世界において有能となる人材を目指すコースです。憲法、民法、刑法、商法、行政法、民事手続法などを中心に学びます。

③ スポーツ法務コース

スポーツを広い視野からビジネスや文化としてとらえ、法学的センスを活かして公務や地域社会のみならず、国内外の企業や教育の現場で輝くことのできる人材を育成するコースです。スポーツと法、法と文化、民法、商法、労働法、法社会学などを中心に学びます。

【カリキュラムマップの見方】

- ・ カリキュラムマップでは、各コースの学修における専門科目の位置付けを示しています。
- ・ どのコースを選んだ場合でも、マップ上のすべての科目を履修できます。
- ・ 履修の優先順位は「専門基幹科目」>「専門展開科目」です。マップの下方に行くほど、応用的・発展的な科目になります。
- ・ 各コースごとに示された科目を一つのモデルとして、科目選びの参考にしてください。
- ・ 課程表のうち「関連科目」については、「専門展開科目」の欄に一部のみ表示しています。

自治行政学科のコース制

法学部では、学生の皆さんが将来の進路希望や学問的興味に応じて、授業科目を計画的に履修し、体系的な学修ができるよう、下記のコース制を設け、それぞれ履修の基本指針を定めています。

学生の皆さんは、所属する学科の枠内で、希望するコースを自由に選ぶことができます。どれか一つのコースを選び、「カリキュラムマップ」を参考にしながら履修計画を作成して、希望の実現のために学修してください。

なお、このコース制では登録などの必要はなく、変更も自由です。また、実際の科目の履修順序は、「カリキュラムマップ」の配列順に縛られないので、何学年で履修するかを考える際に、目安として参照してください。

① 公共法務コース

公共分野のガバナンスにおける法的思考力と政策形成能力を修得して、公務員や議員、NPO などをはじめ、国や自治体を支える「協働の時代」にふさわしい人材を目指すコースです。憲法、民法、行政法、政治学、行政学、地方自治論などを中心に学びます。

② 地域共創コース

法律や地方自治に関する知識と見識を身につけ、各種民間企業のビジネス活動を通して、地域の活性化や福祉の充実といった新しい時代の地域づくりに貢献できる人材を育てるコースです。憲法、民法、コミュニティ政策論、地域起こし政策論、商法などを幅広く学びます。

③ 地域の安全と防災コース

グローバルな視野を持ちつつ地域社会に貢献することをモットーに、警察官や消防官など、地域の安全や防災、危機管理を担う現場で輝く人材を育成するコースです。刑法、地方自治論、警察・消防行政概説、防災政策論、危機管理論などを中心に学びます。

【カリキュラムマップの見方】

- ・カリキュラムマップでは、各コースの学修における専門科目の位置付けを示しています。
- ・どのコースを選んだ場合でも、マップ上のすべての科目を履修できます。
- ・履修の優先順位は「専門基幹科目」>「専門展開科目」です。マップの下方に行くほど、応用的・発展的な科目になります。
- ・各コースごとに示された科目を一つのモデルとして、科目選びの参考にしてください。
- ・課程表のうち「関連科目」については、「専門展開科目」の欄に一部のみ表示しています。

ビジネス法学科のカリキュラムマップ



基本科目：4年間を通じた少人数教育を行う演習 (ゼミ) と情報の基礎を学ぶ科目。
 専門共通科目：ビジネス法、自治行政両学科に共通する必修科目。
 キャリア科目：全学共通のキャリア科目とは別に、法学部独自のキャリアアップのための科目。

専門基幹科目：ビジネス法学科における基幹となるべき重要な科目。早い年次で幅広く学び、進む方向を考える糧にしたい。
 専門展開科目および関連科目：専門基幹科目を学んだ上で、資格を取得したり、専門性を高める科目。早い年次からの計画的な修得が望ましい。

自治行政学科のカリキュラムマップ



自治行政学科ディプロマポリシー (Diploma Policy, DP)
 DP1. 地方自治の発展、地域社会の活性化、住みよいまちづくりに関する知識を身につけている。
 DP2. 公務員・NPO職員等として、行政その他公共の一翼を担うことのできる法的思考能力・政策形成能力を身につけている。
 DP3. 会得した知識を活用し、地方自治や地域社会に関わるさまざまな分野で活躍できる能力を身につけている。
 DP4. 幅広く奥行きのある教養および豊かな人間性に裏打ちされたコミュニケーション能力を身につけている。

学年	科目	1年	2年	3年	4年
3年生以上	専門展開科目 および関連科目	CP2,6 法学特殊講義 CP2,6 外国法 CP3,6 民法4(債権総論) CP3,6 民法5(担保法) CP3,6 労働法I・II CP3,6 消費者法 CP3 経済法I・II CP4 法律専門職特殊講義(行政書士)I・II CP4 法律専門職特殊講義(宅建士)I・II CP5 社会心理学	CP2,6 法学特殊講義 CP3,6 民法4(債権総論) CP3,6 民法5(担保法) CP3,6 労働法I・II CP3,6 防災政策論 CP3 経済法I・II CP3,6 民事訴訟法I・II CP4 公共法務特殊講義(行政職)I・II CP5 マクロ経済学I・II CP5 ミクロ経済学I・II CP3 財政学I・II	CP2,6 法学特殊講義 CP2,6 刑事手続法I・II CP3,6 民法4(債権総論) CP3,6 民法5(担保法) CP3,6 労働法I・II CP3,6 防災政策論 CP3,6 危機管理論 CP3 スポーツと法(契約) CP3 スポーツと法(事故・人権) CP5 地域社会学	CP2,6 法学特殊講義 CP2,6 刑事手続法I・II CP3,6 民法4(債権総論) CP3,6 民法5(担保法) CP3,6 労働法I・II CP3,6 防災政策論 CP3,6 危機管理論 CP3 スポーツと法(契約) CP3 スポーツと法(事故・人権) CP5 地域社会学
	専門基幹科目	CP2,6 民法3(債権各論) CP3,6 行政法(行政救済法) CP3,6 地方自治法	CP3,6 社会保障法 CP3,6 公共政策I・II	CP3,6 コミュニティ政策論 CP3,6 国際関係論	CP3,6 コミュニティ政策論 CP3,6 国際関係論
	キャリア科目	CP5 キャリアスキルB(時事・教養)	CP6 キャリアスキルC(論作文)		
	基本科目(必修)	CP6,7 3年演習	CP6,7 4年演習		
2年生以上	専門展開科目 および関連科目	CP3,6 地域起こし政策論 CP3,6 観光の法と政策 CP5 商法(会社法)I・II CP5 法と文化(アジア)I・II CP5 法と文化(欧米)I・II	CP2,6 法社会学 CP2,6 民事手続法 CP2,6 国際法I・II CP5 現代の政治思想	CP2,6 法社会学 CP2,6 刑法(各論)I・II CP3,6 警察・消防行政概説I・II	CP2,6 法社会学 CP2,6 刑法(各論)I・II CP3,6 警察・消防行政概説I・II
	専門基幹科目	CP2,6 憲法I・II CP2,6 民法1(総則) CP2,6 民法2(物権) CP2,6 家族法I・II CP2,6 刑法総論I・II	CP2,6 行政法(行政作用法)I・II CP2,6 政治学I・II CP2,6 行政学I・II CP3,6 地方自治論I・II	CP3,6 日本政治論I・II CP2 法制史I・II CP2 裁判法概論 CP4 法律実務研究	CP3,6 日本政治論I・II CP2 法制史I・II CP2 裁判法概論 CP4 法律実務研究
	キャリア科目	CP5 キャリアスキルA(数理)I・II			
	基本科目(必修)	CP5,7 2年演習			
1年生	専門基幹科目	CP1 法学の基礎I・II			
	キャリア科目	CP1,5 法学部生のキャリアデザイン			
	専門共通科目(必修)	CP1 市民と法I・II	CP1 国家と法I・II		
	基本科目(必修)	CP5,7 1年演習	CP5 情報リテラシー演習I・II		

自治行政学科カリキュラムポリシー (Curriculum Policy, CP)
 CP1. 法と政治の制度の枠組みを知る科目
 CP2. 法的思考・政策形成能力の基礎となる知識を学ぶ科目
 CP3. 地方における公共的な活動に関わる法的・政策的知識を学ぶ科目
 CP4. 地域社会への貢献に必要な知識を学ぶ科目
 CP5. 地域社会のあり方を深く理解するための背景知識および関連知識を学ぶ科目
 CP6. 地方自治・地域社会の課題を発見し、解決の道筋を考える能力を身につける科目
 CP7. 対話・討論を通じて自らの思考を表現する能力を身につける科目



基本科目：4年間を通じた少人数教育を行う演習(ゼミ)と情報の基礎を学ぶ科目。
 専門共通科目：自治行政、ビジネス法両学科に共通する必修科目。
 キャリア科目：全学共通のキャリア科目とは別に、法学部独自のキャリアアップのための科目。
 専門基幹科目：自治行政学科における基幹となるべき重要な科目。早い年次で幅広く学び、進む方向を考える糧にしたい。
 専門展開科目および関連科目：専門基幹科目を学んだ上で、資格を取得したり、専門性を高める科目。早い年次からの計画的な修得が望ましい。

履修の手引

1. セメスター制

本学ではセメスター制を採用しています。セメスター制とは、学年を春学期と秋学期とに分け、基本的にはそれぞれの学期（セメスター）で単位を修得し、卒業にいたる制度です。

2. 単位制

単位制とは、「教育課程表」に記載されている科目を履修し、科目ごとに定められている単位を修得して、原則として4年間のうちに、卒業に必要な単位を修得する制度です。

(1) 単位の計算方法

単位は講義科目を基本として1単位あたり45時間の学修を必要とする内容で構成されています。2単位の授業科目は90時間の学修時間が必要という意味です。この内、1/3は授業時間内の学修に、2/3が授業時間外の予習・復習に当てられています。単位数の多い科目は予習・復習にそれだけ多くの学修時間をかけなければなりません。

(2) 科目の単位数

科目の単位数は1単位、2単位、4単位のいずれかであり、「教育課程表」に記載されています。授業は基本的に週1回行われ、その授業形態によって、下記のように単位数が決められています。

- 1) 演習：通年の30回の授業で4単位
- 2) 外国語科目：各学期（春、秋）15回の授業で1単位
- 3) 体育科目・スポーツ実技科目：各学期（春、秋）15回の授業で1単位
- 4) 情報科目：各学期（春、秋）15回の授業で2単位
- 5) 講義科目：各学期（春、秋）15回の授業で2単位
- 6) 実習科目：各学期（春、秋）15回の授業で1単位または2単位

3. 最高履修単位数

年間の最高履修単位数は1・2学年が44単位、3・4学年が49単位です。

各学期の最高履修単位数は、1・2学年では26単位、3・4学年では28単位です。ただし、1・2学年では年間の最高履修単位数は44単位ですので、片方の学期で26単位を履修した場合には、もう片方の学期での最高履修単位数は18単位となります。3・4学年では年間の最高履修単位数は49単位ですので、片方の学期で28単位を履修した場合には、もう片方の学期での最高履修単位数は21単位となります。なお、通年で4単位の科目は春学期2単位、秋学期2単位の履修とみなします。

4. 3学年進級に必要な単位数

2学年終了時において、1年演習・2年演習を含め、40単位に達している場合に3学年への進級を認めます。

- ・ 「教育課程表」以外の科目で修得した単位は3学年進級に必要な単位数には含まれません。
- ・ 2年演習の単位を修得できなかった場合でも、1年演習の単位を修得した上で、40単位を満たし

ていれば、3学年へ進級できます。

なお、卒業までに2年演習の単位を修得しなければなりません。

5. 卒業

(1) 修業年限

4年以上在学し、卒業に必要な所定の単位を修得した学生は、「卒業」となります。卒業に必要な所定の単位が修得できずに4年の在学年数を超えて在籍する学生は、卒業に必要な単位を修得した学期で卒業となります。なお、卒業に必要な単位を満たした上で在学することはできません。

(2) 学位

卒業した学生には、「学士（法学）」の学位を授与し、「卒業証書・学位記」を交付します。

学部	学科	学位
経済学部	経済学科	学士（経済学）
	経営学科	学士（経営学）
社会学部	社会学科	学士（社会学）
	国際観光学科	学士（社会学）
流通情報学部	流通情報学科	学士（流通情報学）
法学部	ビジネス法学科	学士（法学）
	自治行政学科	学士（法学）
スポーツ健康科学部	スポーツ健康科学科	学士（スポーツ健康科学）
	スポーツコミュニケーション学科	学士（スポーツ健康科学）

(3) 卒業発表

卒業発表は、毎年3月および9月に行います。

(4) 卒業式

卒業が決定した学生は、卒業式に出席し、学生証と引き換えに「卒業証書・学位記」を受け取ってください。

6. 科目の履修

科目の履修に際しては、教室で授業を受けるだけでなく、シラバスや教室での指導に基づいて自主的に予習・復習をしてください。また、指定された参考図書などについても学習してください。

(1) 科目の区分

各学年の学生が履修すべき科目は、「教育課程表」に記載されています。

必修科目：非常に重要度の高い科目であり、指定された学年に必ず履修しなければならない科目です。

指定された学年で修得できなかった場合には、原則として次年度に必ず履修しなければなりません。

選択必修科目：必修科目に次いで重要度の高い科目であり、教育課程表の区分欄に記されている条件を満たすように科目を選択して、履修しなければならない科目です。

選択科目：必ず履修しなければならない科目ではなく、自由に選択して履修することができる科目です。修得した単位は卒業単位に算入されます。

自由科目：成績表には記載されますが、修得した単位が卒業単位には算入されない科目です。また、各学年の最高履修単位数にも算入されません。ただし、スポーツ健康科学部の開講科目を他学部から自由科目として履修することはできません。

(2) 履修登録（事前登録）

科目の履修にあたっては、事前に登録をしなければなりません。この登録が完了した時点で、科目の履修が確定し、各自の時間割が決定します。ただし、一部、登録が必要でない科目もあります。

- 1) 各科目の時間割、担当教員等については、3月に発表します。履修ガイダンスに出席し、各自であらかじめ履修したい科目を決めておき、定められた期間に履修登録を行ってください。
- 2) 指定された期間に履修登録手続を怠った場合や誤った登録をした場合、その年度の履修は無効となります。
- 3) 履修登録は、Ring（RKU Interchange for Groups）で行います。

7. 単位の修得

- 1) 履修登録した科目に対してのみ単位の修得が認められます。未登録科目を履修しても単位は修得できません。ただし、別に定めるところにより、単位の修得を認めることがあります。
- 2) 履修登録した科目について、「S・A・B・C」いずれかの成績評価が付与された場合に、当該科目の単位の修得が認められます。また、単位が認定された場合には、「R」が付与され、単位の修得が認められます。なお、「D」（不合格）または「/」（評価不能）が付与された場合には、当該科目の単位の修得は認められません。
- 3) 単位は学期（春・秋）ごとに与えられます。通年科目の単位は春学期および秋学期の成績を総合して付与されます。通年科目は片方の学期だけ履修しても単位は修得できません。
- 4) 単位を修得できなかった科目については、再履修してください。ただし、必修科目以外の科目については、別の科目を選択し、履修しても構いません。
- 5) 一度単位を修得した科目については、再度履修して単位を取り直すことはできません。

8. 授業時間

1 時限目	9 : 00 ~ 10 : 30
2 時限目	10 : 45 ~ 12 : 15
3 時限目	13 : 05 ~ 14 : 35
4 時限目	14 : 50 ~ 16 : 20
5 時限目	16 : 35 ~ 18 : 05
6 時限目	18 : 20 ~ 19 : 50

9. 休講と補講

休講の案内は Ring で行います。休講となった場合には補講が行われます。補講は原則として、当該授業のある曜日の 5 時限または土曜日の午前・午後（龍ヶ崎キャンパス）、6 時限または土曜日の午後（新松戸キャンパス）に、またはオンラインにて行われます。補講の詳細については、Ring に掲載します。

10. 出席調査

授業では出席を調査します。出席調査はパソコン・スマートフォン・携帯電話、出席カードや提出物等により行います。インターネットに接続できるパソコン・スマートフォン・携帯電話等を準備してください。

11. 災害時の授業

台風や大雪、あるいは地震などにより大きな災害が発生した場合には、電車やバス等の公共交通機関が運行できなくなる事態が予測されます。その場合には、その都度、授業を実施するか否かを発表しますので、各自、以下の方法で確認してください。

- 1) Ring <https://ring.rku.ac.jp/>
- 2) 災害時連絡ダイヤル 0297-64-0009

12. 試験

(1) 定期試験

- 1) 定期の試験として、春学期試験と秋学期試験があります。

春学期試験 7 月下旬～8 月上旬（約 2 週間）

秋学期試験 1 月下旬～2 月上旬（約 2 週間）

- 2) 試験時間割と注意事項は各試験の 1 週間前までに Ring に掲示しますので、各自で確認してください。

(2) 試験に関する注意事項

- 1) 学生証は必ず携帯し、試験監督者が見やすい場所（机の上）に常に置いてください。学生証を提示しない者は受験できません。学生証を忘れた者は学生生活課で、一日有効の仮学生証（有料）を発行してもらい受験してください。
- 2) 遅刻は試験開始後 20 分以内に限り認めます。ただし、試験時間は延長しません。

- 3) 試験場からの退場は試験開始後 30 分以内は許可しません。
- 4) 試験中は携帯情報端末等（携帯電話・スマートフォン・通信機能付き電子辞書等）の電源を切り、カバン、バッグなどの中に入れておいてください。時計・辞書の代わりにはできません。
- 5) 試験場における行動はすべて試験監督者の指示に従ってください。指示に従わない場合は不正行為となります。
- 6) 試験中（定期試験および定期試験以外）に不正行為があった場合には、「試験規則」第 8 条により処置します。不正行為とは、次のような行為です。
 - ・他の学生 of 答案を見ること。
 - ・他の学生とコミュニケーション（話、目くばせなど）をとること。
 - ・カンニング・ペーパーを持ち込み、それらを見ること。
 - ・許可されていないコピー、テキストなどを持ち込み、それらを見ること。
 - ・通信機器を用いて外部と連絡をとること。
 - ・あらかじめ机に試験に関する事項を書いておき、それらを見ること。
 - ・本人以外の者が代理で受験をすること。
 - ・他の学生と物品の貸し借りをすること。
 - ・答案用紙を教室外に持ち出すこと。
 - ・その他、適正な成績評価を妨げる行為を行うこと。

(3) 追試験

定期試験に欠席した場合には、「試験規則」第 4 条、第 5 条により、追試験を願い出ることができます。追試験の願い出は欠席した試験が行われた日から起算して 7 日以内に行わなければなりません。できるだけ早い時期に必要な公的証明書などを添付して、教務課に申し出てください。入院等により登校できない場合には、教務課に電話連絡をして指示を受けてください。

(4) 再試験

再試験は原則として行いません。ただし、卒業該当年次生で、卒業に必要な単位が不足する学生に対して、次の要件をすべて満たす場合に限り、再試験の受験を認めることがあります。

- 1) 卒業に必要な単位数が不足する場合、その不足科目が 4 科目以内であること。ただし、5 年以上在籍した学生の卒業に必要な単位数が不足する場合には、その不足科目が 6 科目以内であること。
- 2) 卒業年次に履修登録が行われている科目であること。
- 3) 出席不良等の理由で評価不能「/」とされた科目でないこと。
- 4) 本人の申請があること。

(5) レポート提出に関する注意事項

担当教員の指示によりレポートを提出するときは、次の事項に注意してください。

- 1) 指示した期限までに指定場所に提出してください。期限後の提出は無効となります。
- 2) 特別の指示のない限り、A 4 版の用紙を使用し、~~とじて~~とじてください。~~最初のページに、表紙には、~~科目名、担当教員名、課題、学生番号および氏名を黒インク色で明記してください。

13. 不正行為

試験、出席調査、提出物、その他の授業の実施に係る行為において不正をしてはいけません。試験中に不正行為があった場合は「試験規則」第8条により処置します。また、出席調査、提出物、その他の授業の実施に係る行為において不正があった場合は「試験規則」第8条に準じて処置することがあります。

14. 成績評価

- 1) 成績は、授業科目ごとに行う試験（筆記試験、論文、レポート、口述試験、実技テスト）およびその他担当教員の指定する方法によって評価されます。成績評価方法は、シラバスに記載されています。
- 2) 成績は100点法によって評価され、60点以上を合格とし、下表の基準に従って単位が与えられます。また、単位が認定された場合も単位が与えられます。

合格	「S」90点以上	「A」80～89点	「B」70～79点	「C」60～69点
不合格	「D」59点以下 「／」（評価不能）			
単位認定	「R」			

- 3) 成績表は各学期終了後に交付します。ただし、通年科目はその学年終了後に交付します。
- 4) 成績表は各学期終了後に保証人（~~父母~~）宛に郵送します。また、~~学生および保証人の~~ Ringにも提示されます。
- 5) 成績に関して質問のある学生は、「成績確認願」を教務課に提出し、その成績の確認を求めることができます。

15. GPA

本学では、GPA（グレード・ポイント・アベレージ：履修科目の成績の平均値）を算出する制度を定めています。GPAは、学生の学習意欲を高めるとともに、本学が掲げる教育の質の保証についての具体化を進め、適切な修学指導に資することを目的としています。

(1) GPAの算出方法定期試験

GPAは、GPA対象授業科目のうち、履修登録した科目についてそれぞれの単位数にグレードポイント（4、3、2、1、0のいずれか）をかけ、その合計ポイントを単位数の総和で割ったものとなります。

(2) グレードポイント

成績評価に対するグレードポイントは下表の通りです。

評価	グレードポイント
S	4
A	3
B	2
C	1
D	0
／	0
R	適用除外

(3) G P A対象授業科目と適用除外科目

適用除外科目を除くすべての授業科目がG P Aの対象となります。

以下の科目は適用除外科目です。これらの科目にはグレードポイントが付加されず、修得単位や成績はG P Aの計算には使用しません。

1. 教育課程表にある科目に関する単位認定科目
2. 編入学または転入学した際の単位認定科目
3. 本学入学前に修得した単位認定科目
4. 他大学との単位互換等で修得した科目

(4) G P Aの活用

G P Aは、本学大学院の内部推薦基準、特別奨学生の採用基準、また学修指導や退学勧告の資料等
として利用されます。

16. 他キャンパス受講

原則として週1日に限り、他キャンパスで開講される科目の受講を認めることがあります。他キャンパス受講を希望する学生は、履修登録時に教務課に申請してください。

17. キャンパス変更

所定の要件を満たした場合に限り、所属するキャンパスの変更を認めることがあります。キャンパス変更を希望する学生は、教務課に申請してください。ただし、国際観光学科・流通情報学科・スポーツ健康科学部は除きます。

18. 演習の履修

基本科目の演習には、1年演習、2年演習、3年演習、4年演習があります。演習の各クラスは通称「ゼミ」とよばれており、原則として全学年・全員がゼミに所属します。

1) 1年演習

1つのゼミを20名程度で編成し、所属するゼミは入学時に指定します。1年演習の未修得者は3学年に進級できません。

2) 2年演習

1つのゼミを20名程度で編成します。2年演習の選択は、1学年の秋学期に行います。各ゼミの指導計画を選択申込の前に発表しますので、それらを熟読の上、自由に選択してください。また、相談期間を設けますので、希望するゼミの担当教員に相談することもできます。ゼミによっては、希望者が定員を上回ることもあります。その場合には、面接やレポートなどにより、担当教員が履修者を選考することがあります。第1希望のゼミに入れなかった場合には、2回目の選択申込により、定員に満たないゼミの中から、履修するゼミを決定します。

3) 3年演習・4年演習

1つのゼミを20名程度で編成します。3学年、4学年を通じて、同じ教員のゼミを履修します。

ゼミの選択は、2学年の秋学期に行います。ゼミの決定方法は、上記の2年演習の場合と同様です。3年演習と4年演習は原則として同一学年で履修することができません。3年演習の単位を修得できなかった場合には留年となります。

19. 単位の認定

大学の正規の授業以外に、学生のキャリア開発に関連する諸活動や公的機関による資格・検定試験の合格などに、教育課程表にある未修得の科目を履修したものと単位を認定します。なお、各検定試験の合格証明書は申請日から過去3年間のものを有効とします。これらについての履修登録は必要なく、それぞれの認定要件を満たした段階で申請すると、単位が認定されます。認定される単位数は合計で60単位までです。また、認定された単位数（スポーツトレーニング実技を除く）は、学年別の最高履修単位数には含まれません。

(1) 外国語科目の単位認定

公的な機関による下の表に記した検定試験などで基準点以上の成績を修めた者が、所定の手続きを経て、その合格証（成績表・認定証など）を提出した場合には、教育課程表にある外国語科目を履修したものとみなし、その単位を認定します。

認定科目と試験の種類

			1 単位認定	2 単位認定	4 単位認定	6 単位認定	8 単位認定
英語	英語検定	日本英語検定協会	準 2 級	2 級	準 1 級		1 級
英語	TOEIC L&R	ETS	400 点以上	450 点以上	550 点以上		700 点以上
英語	TOEIC Bridge L&R	ETS	150 点以上				
英語	TOEFL	ETS		450 点以上	500 点以上		550 点以上
英語	TOEFL iBT	ETS		45 点以上	61 点以上		79 点以上
中国語	中国語検定（中検）	日本中国語検定協会		準 4 級	4 級	3 級以上	
中国語	漢語水平考試（HSK）	漢語水平考試委員会		2 級以上	4 級	5 級以上	
韓国語	韓国語能力試験（TOPIK）	大韓民国教育部		2 級	3 級	4 級以上	
ドイツ語	ドイツ語技能検定	ドイツ語学文学振興会		4 級	3 級	2 級以上	
フランス語	フランス語技能検定	フランス語教育振興協会		4 級	3 級	2 級以上	
スペイン語	スペイン語技能検定	日本スペイン協会		6 級	5 級以上	3 級以上	
日本語	日本語能力	日本国際教育支援協会	2 級、N2	1 級、N1			
日本語	J.TEST 実用日本語検定	日本語検定協会	600 点以上	700 点以上			
日本語	日本留学	日本学生支援機構		260 点以上			

- ・ TOEIC および TOEFL の基準点は変更する場合があります。
- ・ TOEIC には「一般公開テスト」(SP) と「団体特別受験」(IP) の2種類があります。
 - * 「一般公開テスト」がいわゆる TOEIC で、TOEIC 運営委員会とアメリカの公的機関である ETS (Educational Testing Service) により正式な認定証が発行されます。
 - * 「団体特別受験」は各企業・大学が責任をもって実施する試験で、正式な認定証は発行されません。ただし、TOEIC 運営委員会と実施団体による認定証は発行されます。
 - * 本学では、「一般公開テスト」「団体特別受験」のどちらのスコアでも単位認定の対象とします。
 - * TOEIC Bridge は形式の変更に伴い、単位認定の基準点を 2019 年度以前に受験した場合は 150 点以上、2020 年以降に受験した場合は 80 点以上とします。

韓国語	「ハンダール」能力検定試験	ハンダール能力検定協会		3 級	準 2 級	2 級以上	
-----	---------------	-------------	--	-----	-------	-------	--

- 1) 単位認定は、秋学期定期試験期間終了時までには申請のあったものについては、申請のあった年度に行い、同試験期間終了後に申請のあったものについては次年度に行います。ただし、春学期での卒業を希望する者から春学期定期試験期間終了時までには申請があった場合は春学期に行います。
- 2) 単位認定を希望する者は、必要事項を記入した「単位認定申請書」とそれぞれの試験の「合格証など」を教務課に提出して申請してください。卒業・進級学年の学生で卒業・進級のため単位認定が必要な場合は、必ず上記の各試験期間終了時までには申請してください。
- 3) 同一の外国語で複数の試験・級に合格した場合は、最上位の試験・級のみが単位認定の対象となります。すでに異なる試験・級・得点により単位認定を受けている場合は、新たに認定を受けられる単位数は、認定済みの単位数を減じた単位数です。
- 4) 認定を受けられる単位数は、最高で8単位です。
- 5) 認定される外国語科目は学部により異なりますので、教務課にて確認してください。
- 6) 日本語の単位認定を行う場合は、外国語科目の「日本語」各科目のほか、キャリア科目の「(外)ビジネス日本語Ⅰ・Ⅱ」も認定科目の対象となります。

(2) スポーツトレーニング実技の単位認定

強化部に所属する学生について、課外活動状況により「選択スポーツトレーニング実技」を履修したものとみなし、その単位を認定します。ただし、スポーツ健康科学部は除きます。

- 1) 対象学生は、ラグビーフットボール部、剣道部（男・女）、柔道部、サッカー部、陸上競技部（長距離）、アメリカンフットボール部、硬式野球部に所属する学生（マネージャーは除く）です。
- 2) 単位認定を希望する学生は、所定の申請書を作成し、所属する部に提出してください。各部で集約した申請書は、課外活動強化部推進室を通して、教務課へ提出されます。
- 3) 単位の認定は、①強化部の活動状況、②部活動への出席状況、③部の練習態度、④部の戦績などをチェックして、課外活動強化部推進室が原案を作成し、教授会の議を経て決定します。
- 4) 1学年の春学期に1単位、秋学期に1単位を認定します。1学年で認定されなかった場合には、それ以降の学年で単位認定を申請することができます。

(3) 外国留学

本学の「留学に関する規則」に基づき、外国留学をした学生（外国人留学生を除く）に、留学中の学修内容を審査した上で、教育課程表にある科目の単位認定を行います。

- 1) 外国留学を希望する学生は、留学2ヶ月前までに「留学願」を学長に提出し、国際交流センターの承認を受けてください。
- 2) 単位認定を希望する学生は、留学先からの「出席状況および成績に関する証明書」、「修了証」等を添付し、「単位認定願」を学長に提出してください。
- 3) 単位の認定は、国際交流センターの小委員会が原案を作成し、教授会の議を経て決定します。
- 4) 留学期間中の「演習」については、担当教員と留学者がインターネット等を利用して、相互に緊密な連絡を取り合ってください。担当教員は留学者に対して必要な教育、指導を行い、単位を付与します。演習の単位は認定単位には含めません。
- 5) 外国留学をした学生には、「海外研修」（2単位）の単位認定も行われます。

(4) キャリア科目の単位認定

キャリア科目のうち、「RKU入門」、「RKU実践」、「海外研修」、「災害ボランティアⅠ・Ⅱ」、「インターンシップ（海外）」は認定科目です。

1) RKU 入門

入学直後に行われる導入教育を受講した学生に「RKU入門」の単位を認定します。

- ① 単位の認定は、RKU WEEK 期間内のゼミ、ガイダンスなどの各種講座の受講、その他の関連した授業の受講を前提に、ゼミ担当教員が行います。
- ② すべての学生が履修することを原則とします。
- ③ 1学年の春学期に1単位を認定します。

2) RKU 実践

日常のボランティア活動に対して、所定の要件を満たした場合に単位を認定します。

- ① 対象となるボランティア活動は、大学が認める無報酬の活動です。
- ② 活動の3週間前に「RKU 実践活動届」を教務課に提出してください。
- ③ ボランティア活動の実働3時間を1ポイントとし、合計15ポイントで1単位認定します。ただし、1日2ポイントまでとし、単位認定は在学中1回限りです。
- ④ ボランティア活動参加者は、参加のつど「RKU 実践活動報告書」を別途定める証明部門に提出し、「RKU 実践活動証明書」を受け取り保管しておきます。
- ⑤ 単位認定を希望する場合は、「RKU 実践単位申請書」に15ポイント分の「RKU 実践活動証明書」を添えて教務課へ提出してください。
- ⑥ 単位認定は、秋学期定期試験終了時までには申請のあったものについては、申請のあった年度に行い、同試験終了後に申請のあったものについては次年度に行います。ただし、春学期での卒業を希望する者から春学期定期試験終了時までには申請のあった場合は春学期に行います。

3) 海外研修

「留学に関する規則」に基づき、「海外研修」2単位を認定します。

4) 災害ボランティアⅠ・Ⅱ

東日本大震災などの災害発生に関する災害ボランティア活動の参加者に対して、その活動が所定の要件を満たす場合に単位を認定します。

- ① 災害ボランティア活動が45時間相当の場合は1単位、90時間相当の場合は2単位を認定します。
- ② 単位認定を希望する場合は、事前に学生生活課へ「災害ボランティア活動届」を提出し、活動終了後「災害ボランティア単位認定申請書」に「ボランティア活動日誌」「ボランティア活動証明書」（受け入れ機関・団体の証明）を添えて教務課へ提出してください。

5) インターンシップ（海外）

国際交流センターにおいて定める「海外におけるインターンシップ」に参加した学生に、「インターンシップ（海外）」2単位を認定します。詳細については、~~別途指定します。~~

(5) 資格取得

大学が指定した資格・検定試験に合格した者に単位を認定します。

- ① 資格・検定試験の種類により、資格・検定試験に該当する科目を認定します。
- ② 単位認定は、秋学期定期試験期間終了時までには申請のあったものについては、申請のあった年度に行い、同試験期間終了後に申請のあったものには、次年度に行います。ただし、春学期での卒業を希望する者から春学期定期試験期間終了時までには申請があった場合は春学期に行います。
- ③ 単位認定を希望する者は、必要事項を記入した「単位認定申請書」とそれぞれの試験の「合格証など」を教務課に提出して申請してください。卒業・進級学年の学生で卒業・進級のため単位認定が必要な場合は、必ず上記の各試験期間終了時までには申請してください。
- ④ 卒業単位として認められる単位は最大 20 単位です。
- ⑤ 単位を認定する科目と資格・検定試験は表の通りです。なお、年度によって変更となる場合があります。

単位数	資格名	認定科目 優先1	認定科目 優先2	認定科目 優先3	認定科目 優先4	認定科目 優先5
1 単位	秘書技能検定準1級 (注4)	キャリア基礎 (簿記)	キャリア基礎 (計算)	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)
	秘書技能検定1級 (注4)	キャリア基礎 (簿記)	キャリア基礎 (計算)	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)
	簿記検定3級	キャリア基礎 (簿記)	キャリア基礎 (計算)	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)
	秘書技能検定2級 (注4)	キャリア基礎 (簿記)	キャリア基礎 (計算)	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)
	日商PC (文書作成) 3級	キャリア基礎 (簿記)	キャリア基礎 (計算)	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)
	日商PC (データ活用) 3級	キャリア基礎 (簿記)	キャリア基礎 (計算)	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)
	日商PC (プレゼン資料作成) 3級	キャリア基礎 (簿記)	キャリア基礎 (計算)	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)
	MOS (スプレッドシート) / MCAS (Word)	キャリア基礎 (簿記)	キャリア基礎 (計算)	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)
	MOS (スプレッドシート) / MCAS (Excel)	キャリア基礎 (簿記)	キャリア基礎 (計算)	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)
	漢字検定2級 (注5)	キャリア基礎 (簿記)	キャリア基礎 (計算)	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)
1 単位	宅地建物取引士	キャリア基礎 (簿記)	キャリア基礎 (計算)	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)
2 単位	販売士2級	キャリア基礎 (簿記)	キャリア基礎 (計算)	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)
	簿記検定2級	キャリア基礎 (簿記)	キャリア基礎 (計算)	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)
	国内旅行業務取扱管理者 (注6)	キャリア基礎 (簿記)	キャリア基礎 (計算)	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)
	福祉施設職員1級	キャリア基礎 (簿記)	キャリア基礎 (計算)	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)
	日商PC (文書作成) 2級	キャリア基礎 (簿記)	キャリア基礎 (計算)	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)
	日商PC (データ活用) 2級	キャリア基礎 (簿記)	キャリア基礎 (計算)	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)
	日商PC (プレゼン資料作成) 2級	キャリア基礎 (簿記)	キャリア基礎 (計算)	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)
	経済検定 (B/B+ランク) (注7)	キャリア基礎 (簿記)	キャリア基礎 (計算)	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)
	経済検定 (ミクロ・マクロ) Aランク (注7)	キャリア基礎 (簿記)	キャリア基礎 (計算)	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)
	ファイナンシャル・プランニング技能検定3級 (注8)	キャリア基礎 (簿記)	キャリア基礎 (計算)	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)
ITパスポート	キャリア基礎 (簿記)	キャリア基礎 (計算)	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)	
漢字検定2級 (注5)	キャリア基礎 (簿記)	キャリア基礎 (計算)	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)	
1 単位	ドットコムマスターアワードシナジシングルスター	キャリア基礎 (簿記)	キャリア基礎 (計算)	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)
1 単位	インフニ検定 (上級) (注9)	キャリア基礎 (簿記)	キャリア基礎 (計算)	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)
1 単位	ピアヘルパー・ホームヘルスメンタル検定3級 (注10)	キャリア基礎 (簿記)	キャリア基礎 (計算)	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)

単位数	資格名	認定科目 優先1 (注1)	認定科目 優先2	認定科目 優先3	認定科目 優先4	認定科目 優先5
4 単位	社会保険労務士	社会保険論Ⅰ、社会保険論Ⅱ、労働経済論Ⅰ、労働経済論Ⅱ、公共経済学Ⅰ、公共経済学Ⅱ 労働法Ⅰ、労働法Ⅱ、社会保険論Ⅰ、社会保険論Ⅱ、法学特講講義 キャリアスキルA (教理)Ⅰ、キャリアスキルA (教理)Ⅱ	キャリアスキルA (教理)Ⅰ、キャリアスキルA (教理)Ⅱ	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)
	行政書士	法律専門職特講講義 (行政書士)Ⅰ、法律専門職特講講義 (行政書士)Ⅱ、 法學特講講義、キャリアスキルB (時事・教養)、法律事務所研究	キャリアスキルB (時事・教養)、法律事務所研究	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)
	司法書士	法律専門職特講講義 (行政書士)Ⅰ、法律専門職特講講義 (行政書士)Ⅱ、 法学特講講義、キャリアスキルB (時事・教養)、法律事務所研究	キャリアスキルB (時事・教養)、法律事務所研究	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)
	税理士 (1科目のみ)	財務会計論Ⅰ、財務会計論Ⅱ、管理会計論Ⅰ、管理会計論Ⅱ 簿記論Ⅰ、簿記論Ⅱ、キャリアスキルA (教理)Ⅰ、キャリアスキルA (教理)Ⅱ	キャリアスキルA (教理)Ⅰ、キャリアスキルA (教理)Ⅱ	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)
	通関士	貿易実務論Ⅰ、貿易実務論Ⅱ、グローバル・ロジスティクス論Ⅰ、グローバル・ロジスティクス論Ⅱ 国際ビジネス法、物流関係法、法学特講講義、キャリアスキルA (教理)Ⅰ、キャリアスキルA (教理)Ⅱ、 法律実務研究	キャリアスキルA (教理)Ⅰ、キャリアスキルA (教理)Ⅱ	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)
	総合旅行業務取扱管理者	観光キャリアケア・エクスパートイ、旅行企画システム論 アルゴリズム論、通信・ネットワーク概論、ソフトウェア設計論、情報倫理	キャリアスキルA (教理)Ⅰ、キャリアスキルA (教理)Ⅱ	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)
	基本情報技術者試験	社会保険論Ⅰ、社会保険論Ⅱ、財政学Ⅰ、財政学Ⅱ、公共経済学Ⅰ、公共経済学Ⅱ 簿記 (簿記検定) 簿記検定3級、キャリアスキルA (教理)Ⅰ、キャリアスキルA (教理)Ⅱ、 キャリアスキルB (時事・教養)	キャリアスキルA (教理)Ⅰ、キャリアスキルA (教理)Ⅱ	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)
	ファイナンシャル・プランニング技能検定2級 (注8)	ミクロ経済学Ⅰ、ミクロ経済学Ⅱ、マクロ経済学Ⅰ、マクロ経済学Ⅱ、公共経済学Ⅰ、公共経済学Ⅱ ミクロ経済学Ⅰ、ミクロ経済学Ⅱ、マクロ経済学Ⅰ、マクロ経済学Ⅱ、国際経済論Ⅰ、国際経済論Ⅱ、 キャリアスキルA (教理)Ⅰ、キャリアスキルA (教理)Ⅱ	キャリアスキルA (教理)Ⅰ、キャリアスキルA (教理)Ⅱ	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)
	経済学検定 (Aランク以上) (注7)	簿記論Ⅰ、簿記論Ⅱ、会計学Ⅰ、会計学Ⅱ、原価計算論Ⅰ、原価計算論Ⅱ、財務会計論Ⅰ、財務会計論Ⅱ 管理会計論Ⅰ、管理会計論Ⅱ、中級簿記論Ⅰ、中級簿記論Ⅱ、上級簿記論Ⅰ、上級簿記論Ⅱ	キャリアスキルA (教理)Ⅰ、キャリアスキルA (教理)Ⅱ	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)
	簿記検定1級	簿記論Ⅰ、簿記論Ⅱ、会計学Ⅰ、会計学Ⅱ、原価計算論Ⅰ、原価計算論Ⅱ、財務会計論Ⅰ、財務会計論Ⅱ 管理会計論Ⅰ、管理会計論Ⅱ、中級簿記論Ⅰ、中級簿記論Ⅱ、上級簿記論Ⅰ、上級簿記論Ⅱ	キャリアスキルA (教理)Ⅰ、キャリアスキルA (教理)Ⅱ	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)
販売士1級	簿記論Ⅰ、簿記論Ⅱ、会計学Ⅰ、会計学Ⅱ、原価計算論Ⅰ、原価計算論Ⅱ、財務会計論Ⅰ、財務会計論Ⅱ 管理会計論Ⅰ、管理会計論Ⅱ、中級簿記論Ⅰ、中級簿記論Ⅱ、上級簿記論Ⅰ、上級簿記論Ⅱ	キャリアスキルA (教理)Ⅰ、キャリアスキルA (教理)Ⅱ	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)	
8 単位	公認会計士 (短答式)	簿記論Ⅰ、簿記論Ⅱ、会計学Ⅰ、会計学Ⅱ、原価計算論Ⅰ、原価計算論Ⅱ、財務会計論Ⅰ、財務会計論Ⅱ 管理会計論Ⅰ、管理会計論Ⅱ、中級簿記論Ⅰ、中級簿記論Ⅱ、上級簿記論Ⅰ、上級簿記論Ⅱ	キャリアスキルA (教理)Ⅰ、キャリアスキルA (教理)Ⅱ	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)	キャリア発展 (文書)

(注1) 特別奨励学生が認定を受ける際は、学科が指定した科目から選択をする。
(注2) 特別奨励学生以外の学生が認定を受ける際は、学生自身の学習・受講により、表内から選択する。
(注3) 学科指定科目の枠内における通用単位は、上に記載の科目からとるが、学生自身の学習・受講により選択することができる。
(注4) 秘書技能検定2級、秘書技能検定1級、秘書技能検定1級における最大認定単位数は、2単位までとする。
(注5) 漢字検定2級、漢字検定2級における最大認定単位数は、2単位までとする。
(注6) 国内旅行業務取扱管理者、総合旅行業務取扱管理者における最大認定単位数は、4単位までとする。
(注7) 経済学検定 (B/B+ランク)、経済学検定 (ミクロ・マクロ) Aランク、経済学検定 (Aランク以上) における最大認定単位数は、4単位までとする。
(注8) ファイナンシャル・プランニング技能検定3級、ファイナンシャル・プランニング技能検定2級における最大認定単位数は、4単位までとする。
(注9) インフニ検定 (中級)、インフニ検定 (上級) における最大認定単位数は、2単位までとする。
(注10) ピアヘルパーおよびホームヘルスマネジメント検定3級の際に取得した場合は、2単位までの申請ができる。

- ⑥ 単位認定される資格のうち、法学に特に関係の深いものについては、下の表の通り認定する単位数を加算します。その際、4単位分までは資格取得科目による単位認定とし、それを超える分について「(6) 法学関連科目の単位認定」に関する規定を準用して単位認定を行います。

資格の種類	認定単位数	資格関連科目による 認定単位数	法学関連科目の単位認定に 準じて認定する単位数
司法書士	8	4	4
行政書士	8	4	4
宅地建物取引士	6	2	4
社会保険労務士	8	4	4
通関士	8	4	4

(6) 法学関連科目の単位認定

法学検定およびビジネス実務法務検定試験に合格した学生に、下記の通り単位の認定をします。

- 1) 単位認定は、秋学期定期試験期間終了時までには申請のあったものについては、申請のあった年度に行い、同試験期間終了後に申請のあったものについては次年度に行います。ただし、春学期での卒業を希望する者から春学期定期試験期間終了時までには申請があった場合は春学期に行います。
- 2) 単位認定を希望する者は、必要事項を記入した「単位認定申請書」とそれぞれの試験の「合格証など」を教務課に提出して申請してください。卒業・進級学年の学生で卒業・進級のため単位認定が必要な場合は、必ず上記の各試験期間終了時までには申請してください。
- 3) 同一の検定試験で複数の級に合格した場合には、上位の級のみが単位認定の対象となります。異なる級の合格によりすでに単位認定を受けている場合は、新たに認定を受けられる単位数は認定済みの単位数を減じた単位数です。
- 4) 認定を受けられる最高単位数は総計8単位です。

	認定単位数			認定科目
	4単位	6単位	8単位	
法学検定 (財)日弁連法務研究財団 (社)商事法務研究会	ベーシック 〈基礎〉 コース	スタンダード 〈中級〉 コース	アドバンス ト〈上級〉 コース	法学特殊講義 法律実務研究 スポーツと法（各科目） 法と文化（各科目）
ビジネス実務法務検定 東京商工会議所	3級	2級	1級	

20. 資格の取得

(1) 教員免許

法学部の両学科において、中学校教諭一種（社会）と高等学校教諭一種（公民）の教員免許を取得することができます。別冊「教職課程履修の手引き」を参照してください。

(2) 社会福祉主事（任用資格）

厚生労働大臣の指定する科目を修めて卒業した者に与えられる任用資格であり、以下の科目から3

科目以上を履修し、卒業した者に与えられます。

社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ 公的扶助論 老人福祉論 障害者福祉論 地域福祉論Ⅰ・Ⅱ 介護福祉論 福祉行財政と福祉計画論 心理学Ⅰ・Ⅱ 社会学Ⅰ・Ⅱ

履修上の留意点

- *Ⅰ・Ⅱと分かれている科目（たとえば地域福祉論Ⅰ・Ⅱ）は、 Semester制では2科目となりますが、社会福祉主事の科目としては1科目と数えます。Ⅰ・Ⅱと分かれている科目の履修については、通年で（Ⅰ・Ⅱともに）履修してください。
- *任用資格とは、任用されて（雇用されて）初めて活かすことのできる資格です。就職のための資格ではありませんので、よく考えて履修してください。
- *3科目以上を履修し卒業すれば任用資格を取得できますが、実務上は、6科目以上履修し卒業することが望まれます。

(3) 公益社団法人 日本体育協会「公認スポーツ指導者」

日本体育協会は、国民のスポーツ振興と競技力向上にあたる各種スポーツ指導者の資質と指導力の向上をはかり、指導活動の促進と指導体制を確立、総合型地域スポーツクラブでのスタッフの育成を図るため、「(財)日本体育協会公認スポーツ指導者制度」を制定しています。

将来、スポーツ指導者、総合型地域スポーツクラブでのスタッフ等を目指す学生は、日本体育協会資格一覧の資格を取得することが望まれます。「共通科目Ⅰ・Ⅱ」の修了証は、下記の表に示す科目の単位を取得し、申請を行った者が取得できます。また、「共通科目Ⅰ・Ⅱ」の修了証の申請と同時に、「スポーツリーダー」の資格を取得できます。

No.	科目名	単位数
1	スポーツと文化	2
2	コーチング論	2
3	スポーツと法（事故・人権）	2
4	体力トレーニング論	2
5	発育発達老化の理論・実習	2
6	スポーツ栄養学Ⅰ	2
7	スポーツ社会学	2
8	スポーツ外傷・障害と予防	2
9	スポーツ心理学	2
10	スポーツマネジメント論	2

これらの申請は、**卒業年次のみ**にしか受け付けることができません。卒業後の申請は、いかなる理由であれ認められませんので、注意してください。申請には別途申請料を徴収します。

日本体育協会が認定する様々な資格を取得するためには、日本体育協会が開催する講習会等に出席し、各専門科目を取得する必要があります。資格の詳細は、日本体育協会のホームページ (<http://www.japan-sports.or.jp/>) で確認してください。

日本体育協会資格一覧

スポーツ指導基礎資格

(h=時間)

資格	内容	要件
スポーツリーダー	・地域におけるスポーツグループやサークルなどのリーダーとして、基礎的なスポーツ指導や運営にあたる。	共通I

競技別指導者資格

資格	内容	要件
指導員	・地域スポーツクラブ等において、スポーツに初めて出会う子どもたちや初心者を対象に、競技別の専門知識を活かし、個々人の年齢や性別などの対象に合わせた指導にあたる。	共通I 専門:40h以上
上級指導員	・地域スポーツクラブ等において、年齢、競技レベルに応じた指導にあたる。 ・事業計画の立案などクラブ内指導者の中心的な役割を担う。	共通I+II 専門:20h以上
コーチ	・地域において、競技者育成のための指導にあたる。 ・広域スポーツセンターや各競技別のトレーニング拠点において、有望な競技者の育成にあたる。	共通I+II+III 専門:60h以上
上級コーチ	・ナショナルレベルのトレーニング拠点において、各年代で選抜された競技者の育成強化にあたる。	共通I+II+III+IV 専門:40h以上
教師	・商業スポーツ施設等において、競技別の専門的指導者として、質の高い実技指導を行う。	共通I+II+III 専門:80h以上
上級教師	・商業スポーツ施設等において、競技別の専門的指導者として質の高い実技指導を行う。 ・会員（顧客）が満足できるよう、個々人の年齢や性別、技能レベルやニーズなどに合わせたサービスを提供する。	共通I+II+III+IV 専門:60h以上

フィットネス系資格

資格	内容	要件
ジュニアスポーツ指導員	・地域スポーツクラブ等において、幼・少年期の子どもたちに遊びを通した身体づくり、動きづくりの指導を行う。	共通I 専門:40h
スポーツプログラマー	・主として青年期以降のすべての人に対し、地域スポーツクラブなどにおいて、フィットネスの維持や向上のための指導・助言を行う。	共通I+II 専門:63h

メディカル・コンディショニング系資格

資格	内容	要件
アスレティックトレーナー	・スポーツドクター及びコーチとの緊密な協力のもとに、競技者の健康管理、障害予防、スポーツ外傷・障害の救急処置、アスレティックリハビリテーション及びトレーニング、コンディショニング等にあたる。	共通I+II+III 専門:600h
スポーツ栄養士	・スポーツ活動現場において、競技者の栄養・食事に関する専門的なサポートにあたる。 ・競技者の栄養・食事に関する自己管理能力を高める栄養教育を行う。	共通I+II+III 専門:116.5h

マネジメント資格

資格	内容	要件
アシスタントマネジャー	・総合型の地域スポーツクラブなどにおいて、クラブ員が充実したクラブライフを送ることができるよう、クラブマネジャーを補佐し、クラブマネジメントのための諸活動をサポートする。	共通I 専門:35h
クラブマネジャー	・総合型の地域スポーツクラブなどにおいて、クラブの経営資源を有効に活用し、クラブ会員が継続的に快適なクラブライフを送ることができるよう健全なマネジメントを行う。	共通I 専門:167.5h

2022年（令和4年）4月発行

法学部

履修要綱

流通経済大学

RKU

<https://www.rku.ac.jp/>